



令和3年度

川崎市市民ミュージアム年報

KAWASAKI CITY MUSEUM ANNUAL REPORT 2021.4 - 2022.3

川崎市市民ミュージアム年報

目次

令和3年度年報の発行にあたって	3
概要	4
沿革	5
令和3年度 利用者統計表	6
展示・上映	
企画展	
救う過去、つなぐ未来 ―川崎市市民ミュージアム被災後活動報告展―	8
給水開始100年 ―近代川崎を切り拓いた水道―	10
第55回 かわさき市美術展	14
the 3rd Area of “C” ―3つめのミュージアム―	18
鉄道操車場物語 ―新鶴見から塩浜へ―	22
映画上映	
川崎市市民ミュージアム出張 夕やけ上映会	26
教育普及	28
収集・貸出・特別利用	34
調査・研究	39
広報	42
資料	47



令和3年度年報の発行にあたって

川崎市市民ミュージアムは、平成29（2017）年度より川崎市の指定管理者としてアクティオ・東急コミュニティー共同事業体とその管理運営にあたってまいりましたが、その丁度中間点の令和元（2019）年10月、台風による未曾有の災害を被りました。以来、様々な外部支援団体の方々からご支援ご協力を賜りながら被災資料のレスキュー活動を継続し、令和3年度をもちまして指定管理者としての務めを終了することになりました。5年間の指定管理期間中、川崎市民をはじめ当館の様々な事業にご参加くださいました方々、そして被災資料のレスキュー活動にご協力を賜りました皆様のご厚情に対しまして、この場を借りて衷心より御礼を申し上げます。

さて、本年報では被災資料のレスキュー活動以外に行った令和3年度の事業を報告いたします。今年度も館内では被災資料の応急処置以外の博物館活動を行うことができず、館外にて川崎市民の創作活動の発表の場である「かわさき市美術展」ほか6つの企画展（3つは館外会場、3つは当館 Web サイト上）、5つのミュージアム講座（すべて当館 Web サイト上）、2つのワークショップと映画上映（いずれも館外にて）、当館 Web サイト上の「川崎市市民ミュージアム被災収蔵品レスキューの記録」の連載企画、史跡めぐり等を実施いたしました。また、江戸から昭和の時代にかけて川崎庶民の暮らしと経済を支えてきた川崎市内を流れる「二ヶ領用水」の開削の様子を紹介する社会科教育推進事業を市立小学校にて行ってきました。さらに、博物館活動の基盤を成す収蔵資料のデータベース整備事業および広報活動も昨年度から継続して実施いたしました。

以上の活動は、2年越しの被災下にあって、施設は使えずとも博物館活動を継続させよう、市民の方々に博物館活動に参加していただこうと、職員全員が知恵を出し合い協働して行ってきたものであり、いずれもが当館の置かれた状況を物語っているように思います。

博物館はその地域や国、そして人類共通の財産を保存し、展示等の活動を行い、時代や社会と共に歩みながら、過去に光を当て、現在を見つめながら、未来のために私たちの姿を歴史に印してきた大切な社会教育施設です。当館は、現在も先の見えない被災資料の応急処置作業の途上にはありますが、令和4年度以降につきましては、川崎市による新しい体制にて被災資料の応急処置と修復活動が進展し、博物館活動が展開されますことを茲に願うものです。

令和4年3月

館長 大野正勝

概要

都市は、その形成過程において、さまざまな人が集まることにより次々と新しい文化を生み出している。川崎市市民ミュージアムは 1988(昭和63)年 11 月、「都市と人間」を基本テーマに開館し、都市の発展過程やそこで生まれ育った文化を見つめるための資料や作品の収集・調査・研究・展示などの活動を行ってきた。

特に、今日私たちの暮らしに深い関わりをもち、都市文化の形成に大きな役割を果たしてきたポスター、版画、写真、漫画、映画、映像といった複製技術による芸術作品、川崎に関連する考古・歴史・民俗資料及び芸術家の作品を対象にした基本テーマの追求は当館の特色である。

なお、令和元年東日本台風の被害により施設は休館し、被災収蔵品のレスキュー作業を行っているが、アウトリーチによる展示や教育普及事業などを継続し、新たに Web 上での活動も実施している。

トーマス転炉（日本鋼管 現 JFE 寄贈）

英国人シドニー・G・トーマスが発明した燐を含む鉄鉱石の製鋼炉。1937（昭和 12）年から 1957（昭和 32）年まで稼働し、日本の鉄鋼業界の発展に大きく貢献した。京浜工業地帯発展史のなかでも象徴的な産業遺産といえる。

沿革（開館まで）

1980（昭和 55）年

川崎市博物館構想委員会を設置（担当教育委員会）
漫画・写真・映像文化センター構想を発表（担当企画調整局）

1981（昭和 56）年

川崎市博物館基本構想を策定
現代映像文化センター基本構想を策定

1982（昭和 57）年

川崎市博物館建設調査委員会を設置（教育委員会）し、同時に展示基本計画書を策定
現代映像文化センター基本計画委員会を設置（企画調整局）し、基本計画を策定

1983（昭和 58）年

川崎市博物館資料収集委員会（教育委員会）、現代映像文化センター収集委員会を設置（企画調整局）し、
収集事業がスタート
両計画を一体化するため、仮称川崎市博物館・現代映像文化センター一体化に関わる委員会を設置（企画調整局）し、基本計画を策定

1985（昭和 60）年 3月

建築基本設計を完了

1985（昭和 60）年 3月

展示基本設計を完了

1985（昭和 60）年 4月

教育委員会に市民ミュージアム準備事務室が発足

1985（昭和 60）年 11月

建築実施設計を完了

1986（昭和 61）年 3月

展示実施設計を完了

1986（昭和 61）年 3月

建築工事着手

1987（昭和 62）年 7月

展示工事着手
川崎市市民ミュージアム条例を制定

1988（昭和 63）年 11月

川崎市市民ミュージアム開館

令和3年度 利用者統計表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
常設展	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
企画展	有料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	無料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
映像ホール	有料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	無料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミニホール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
館内イベント・講座等	0	0	0	20	0	0	0	0	83	6	0	0	109
ミュージアムライブラリー（図書）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミュージアムライブラリー（映像）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミュージアムライブラリー（閲覧）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研修室等利用者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミュージアムギャラリー1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミュージアムギャラリー2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
館外展示入館・出張プログラム等	0	0	0	219	70	1,866	5,475	2,110	1,499	294	3,928	328	15,789
合計	0	0	0	239	70	1,866	5,475	2,110	1,582	300	3,928	328	15,898
利用者累計	0	0	0	239	309	2,175	7,650	9,760	11,342	11,642	15,570	15,898	
開館日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1日平均利用者数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

展示室別内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
企画展示室1	有料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	シニア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高校・大学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中学生以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般（団体）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	シニア（団体）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高・大生（団体）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他（団体）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	無料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	招待券	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	障害者等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中学生以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	取材	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
企画展示室2	有料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	シニア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高校・大学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中学生以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般（団体）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	シニア（団体）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高・大生（団体）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他（団体）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	無料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	招待券	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	障害者等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中学生以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	取材	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アートギャラリー	有料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	シニア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高校・大学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中学生以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般（団体）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	シニア（団体）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高・大生（団体）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他（団体）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	無料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	招待券	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	障害者等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中学生以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	取材	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
映像ホール	有料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	シニア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高校・大学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小中学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	優待割引	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	スカラチケット	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	無料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	招待券	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	障害者等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未就学児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

展示 · 上映



【企画展】

救う過去、つなぐ未来 —川崎市市民ミュージアム被災後活動報告展—



会場 東海道かわさき宿交流館 3階企画展示室
会期 2021年9月7日(火)～10月31日(日)
日数 48日間
入場者数 4,618人
観覧料 無料
主催 川崎市市民ミュージアム
共催 川崎市、東海道かわさき宿交流館

当館の被災から2年を迎える時期に合わせて、被災後の活動を報告する展覧会として開催した。被災状況や各分野のレスキュー活動、修復の過程、現在館内で行っている作業などを大型のパネルで細かく紹介するとともに、被害を受けた作品やレスキューに用いた装備、道具を現物資料として展示した。

A4 チラシ 12,000部



救う過去、つなぐ未来 —川崎市市民ミュージアム被災後活動報告展—
展示構成

パネルタイトル

第0章

ごあいさつ

川崎市市民ミュージアム

第1章

被災

地階の被災状況①

地階の被災状況②

地階の被災状況③

第2章

レスキュー活動が始まるまで①

レスキュー活動が始まるまで②

レスキュー活動：歴史分野

レスキュー活動：民俗分野

レスキュー活動：考古分野

レスキュー活動：美術文芸分野

レスキュー活動：グラフィック分野

レスキュー活動：写真分野

レスキュー活動：漫画分野

レスキュー活動：映画・映像分野

第3章

修復：博物館部門①

修復：博物館部門②

修復：美術館部門①

修復：美術館部門②

館内での活動

アウトリーチ活動①

アウトリーチ活動②

第4章

おわりのことば

レスキュー報告プロジェクトの紹介

謝辞

寄付者一覧／寄付のお願い



救う過去、つなぐ未来 —川崎市市民ミュージアム被災後活動報告展—
出品資料

資料名	分類	点数
被災により停止した第8収蔵庫の掛け時計	市民ミュージアム備品	1
被災した第5収蔵庫の温湿度計	市民ミュージアム備品	1
HEPA フィルタ搭載の専用吸引機	収蔵品レスキュー資材	1
資料の剥離などに用いた竹べら	収蔵品レスキュー資材	2
カビ払いに用いたハケ	収蔵品レスキュー資材	2
ヘルメット	収蔵品レスキュー用装備	1
手袋（一組）	収蔵品レスキュー用装備	1
ヘッドライト	収蔵品レスキュー用装備	1
防塵メガネ	収蔵品レスキュー用装備	1
長靴（一組）	収蔵品レスキュー用装備	1
防護服	収蔵品レスキュー用装備	1
防塵マスク	収蔵品レスキュー用装備	1
レスキュー参加者に配られたマニュアル	収蔵品レスキュー用装備	1
抱瓶	美術文芸分野収蔵品	1
二彩筋文瓶子	美術文芸分野収蔵品	1
シーサー（一組）	美術文芸分野収蔵品	1
鉄絵皿	美術文芸分野収蔵品	1



【企画展】

給水開始 100 年 —近代川崎を切り拓いた水道—



会場	川崎市大山街道ふるさと館 展示室
会期	2021年10月1日(金)～11月28日(日)
日数	59日間
入場者数	2,207人
観覧料	無料
主催	川崎市市民ミュージアム
共催	川崎市上下水道局、川崎市大山街道ふるさと館

川崎では、主に二ヶ領用水の水を生活用水として利用し、人々の暮らしを支えていたが、水質は決して良いとはいえなかった。明治末期には工場誘致を町のスローガンとして掲げ、多くの工場が川崎の臨海部に進出したため、大量の水が必要とされたことなどをきっかけとして、川崎町（現川崎区北部）に待望の水道が敷設された。

水道敷設後、水を必要としていた隣接の町村を合併し、大正13（1924）年に川崎市が誕生。その後も、周辺町村と合併を繰り返し、昭和14（1939）年に現在の市域が確定する。こうした市域拡張にも水道は深く関わっていた。

川崎水道100周年を記念した本展では、水道敷設時の資料や、市制施行前後からその後の市形成に関する文献など約50点を展示し、川崎における水道の歴史をたどった。

A4 チラシ 17,000部（うれしい蛇口コンテストチラシ43,000部）

B3 ポスター 300部

関連イベント

川崎市市民ミュージアム講座 展覧会見どころ紹介「給水開始100年―近代川崎を切り拓いた水道―」

配信期間 2021年9月24日(金)10:00～12月23日(木)16:00 ※Webサイトで配信

視聴回数 208回

うれしい蛇口コンテスト

日時 2021年10月1日(金)～11月28日(日)

※展覧会「給水開始100年―近代川崎を切り拓いた水道―」会期中

会場 川崎市大山街道ふるさと館 1階スロープ

応募作品数 481点

学芸員による展示解説

日時 2021年10月17日(日)、11月21日(日) 各日14:00～

会場 川崎市大山街道ふるさと館 展示室

参加者総数 21名

連携上映「川崎 水を求める旅」

講師 鈴木勇一郎(川崎市市民ミュージアム学芸員)

日時 2021年10月24日(日)13:30～16:00

会場 川崎市大山街道ふるさと館 イベントホール

参加者数 30名

上映作品

『滾々として尽きず』(1957年/白黒/スタンダード/27分/監督:永富映次郎)

『川崎の水』(1968年/白黒/シネマスコープ/56分/監督:関川秀雄)

記念講演会「近代水道が作った都市・川崎」

講師 松本洋幸氏(大正大学文学部歴史学科准教授)

日時 2021年10月31日(日)14:00～16:00

会場 川崎市大山街道ふるさと館 イベントホール

参加者数 29名

給水開始 100 年 —近代川崎を切り拓いた水道— 出品目録

作品番号	資料名	年代	点数	所蔵
第 1 章 水道が敷かれる前の水利用				
1	写真パネル「稲毛川崎ニヶ領用水絵図」	天保 9 (1838) 年 10 月	1	川崎市市民ミュージアム
2	ニヶ領用水分量樋模型	—	1	川崎市市民ミュージアム
3	溝之口村水騒動明細帳〈複製〉	文政 4 (1821) 年 7 月 6 日	1	川崎市市民ミュージアム
4	ニヶ領円筒分水模型	—	1	川崎市市民ミュージアム
5	横浜表人口呑用水新規御取立之義ニ付連印帳	明治 3 (1870) 年 2 月 26 日	1	川崎市大山街道ふるさと館
6	稲毛川崎ニヶ領用水横浜上水合併井路欠崩所修繕願	明治 18 (1885) 年 12 月 21 日	1	川崎市大山街道ふるさと館
7	『横浜貿易新報』〈複製〉	大正 5 (1916) 年 7 月 3 日	1	川崎市市民ミュージアム
8	ニヶ領用水国登録記念物プレート	令和 2 (2020) 年	1	川崎市建設緑政局
第 2 章 近代水道をつくる				
2-1 川崎町と石井泰助				
9	石井泰助肖像写真	大正 13 (1924) 年頃	1	川崎市市民ミュージアム
10	当用日記 (「石井泰助日記」)〈複製〉	明治 44 (1911) 年・明治 45 (1912) 年・大正 6 (1917) 年	3	川崎市公文書館
11	手控帳 (「石井泰助日記」)〈複製〉	大正 8 (1919) 年・大正 14 (1925) 年	2	川崎市公文書館
12	角型木樋	江戸時代	1	川崎市上下水道局
13	鑄鉄管	大正 8 (1919) 年	1	川崎市上下水道局
14	木管	大正 8 (1919) 年頃	1	川崎市上下水道局
15	写真「戸手浄水場ろ過池工事」	大正 8 (1919) 年頃	1	川崎市上下水道局
16	写真「宮内水源地」	昭和 5 (1930) 年頃	1	川崎市上下水道局
17	パンフレット「川崎市の水道・工業用水道」	昭和 60 (1985) 年 12 月 1 日	1	川崎市市民ミュージアム
18	写真パネル「川崎町水道通水記念絵葉書」	大正 10 (1921) 年 9 月	4	川崎市市民ミュージアム
19	写真パネル「川崎市水道発祥地之碑 (戸手浄水場跡)」	昭和 55 (1980) 年 7 月	1	川崎市市民ミュージアム
20	写真パネル「川崎町水道一覧図」	大正 10 (1921) 年 9 月	1	川崎市市民ミュージアム
21	川崎町水道通水記念杯	大正 10 (1921) 年 10 月 15 日	2	川崎市市民ミュージアム
2-2 川崎市の誕生と水道の拡がり				
22	写真パネル「絵はがき (川崎市制記念)」	大正 13 (1924) 年 11 月 28 日	5	川崎市市民ミュージアム
23	川崎市水道誌	大正 15 (1926) 年	1	川崎市立中原図書館
24	中原町制施行満 3 週年記念	昭和 3 (1928) 年	1	川崎市立中原図書館
25	中原町上水道小誌	昭和 4 (1929) 年 3 月	1	個人
26	写真パネル「中原町水道一般図」	昭和 3 (1928) 年	1	川崎市市民ミュージアム
27	通知 (鉄管検査のため川口機械製作所へ御出張相成度)	昭和 4 (1929) 年 1 月 27 日	1	川崎市市民ミュージアム
28	中原川崎合併前後ノ市町税負担一覧表	昭和 4 (1929) 年頃	1	個人
第 3 章 高津地域の水利用				
29	(久地村水樋尻狹土手普請出来形帳)	弘化元 (1844) 年～嘉永 2 (1849) 年	1	川崎市大山街道ふるさと館
30	以書付奉願候 (田方養水埋樋伏替願)	明治 11 (1878) 年 4 月 23 日	1	川崎市大山街道ふるさと館
31	大正時代家庭用浄化水槽	平成 7 (1995) 年 7 月 10 日	1	川崎市大山街道ふるさと館
32	高津町役場模型	—	1	川崎市大山街道ふるさと館
33	溝口飲料水路図	平成 7 (1995) 年 7 月 10 日	1	川崎市大山街道ふるさと館
34	簡易水道敷設申請書	昭和 5 (1930) 年 2 月 5 日	1	川崎市公文書館
35	溝口簡易水道敷設図	昭和 5 (1930) 年	1	川崎市公文書館
36	水道導水管布敷ニ付軌道横断ノ件	昭和 5 (1930) 年 4 月 28 日	1	川崎市公文書館
37	溝ノ口水道組合水道敷設実測平面図	昭和 5 (1930) 年	1	川崎市公文書館
38	溝ノ口簡易水道買収ノ件	昭和 12 (1937) 年 3 月 26 日	1	川崎市公文書館
39	川崎市水道事業 100 周年記念映像	令和 3 (2021) 年	1	川崎市上下水道局



【企画展】

第55回かわさき市美術展



会場	ミュージアム川崎シンフォニーホール 企画展示室・研修室 4
会期	2021年11月26日(金)～12月11日(土) 入選作品展(全部門)…11月26日(金)～12月2日(木) 入賞作品展(全部門)…12月4日(土)～12月11日(土)
日数	15日間
入場者数	1,092人
観覧料	無料
主催	川崎市市民ミュージアム
後援	川崎市教育委員会、かわさきFM(79.1MHz)
協賛	川崎信用金庫、セシサ川崎農業協同組合(50音順)

かわさき市美術展は、昭和42(1967)年から行われている、川崎市の芸術文化活動の振興を目的とした展覧会である。本展では、川崎市に在住・在勤・在学、あるいは市内で制作活動をしている人々を対象に全6部門(①平面、②彫刻・立体造形、③工芸、④書、⑤写真、⑥中高生)の作品の公募をした後、審査の上、入賞及び入選作品を展示した。合計315点の応募があった。

当館が現在も休館中であることから、第54回に引き続きミュージアム川崎シンフォニーホールにて開催した。選考の結果、最優秀賞は菊地彩香氏の作品「ドロップが降る夜の夢」、中高生を対象としたコミュゼ川崎大賞は小林優氏の作品「多喜二蟹」が受賞した。本展は会期を2期に分け、入賞・入選作品計113点の展示を行った。

また、第55回特別企画として、入選・入賞作品に加えて選外作品にも審査員からのコメントを渡した。

※文化庁「文化施設の感染拡大予防・活動支援整備事業」補助金交付対象事業

応募者数 245名/応募作品数 315点/入賞・入選者数 111名/入賞・入選作品数 113点
市民賞 7点 ※入選作品から部門ごとに選出

【募集要項】 A4(A3二つ折り)チラシ 30,000部 B3ポスター 300部
【作品展】 A4チラシ 9,000部 はがき 3,800部
【作品集】 2,000部

関連イベント

セミナー「写真作品発表マニュアル」

期間 2021年7月30日(金)10:00～12月25日(土)16:00 ※Webサイトで配信
講師 棚井文雄氏(写真家・日本写真著作権協会常務理事・日本写真作家協会副会長 ※配信当時)
視聴回数 691回

対談 雑誌編集長×写真家「コンテストの魅力」

期間 2021年9月1日(水)10:00～12月25日(土)16:00 ※Webサイトで配信
講師 藤森邦晃氏(写真雑誌「フォトコン」編集長)
棚井文雄氏(写真家・日本写真著作権協会常務理事・日本写真作家協会副会長 ※配信当時)
視聴回数 124回

オンラインセミナー「額縁のお話」【前年度実施のセミナーを再配信】

期間 2021年9月23日(木・祝)10:00～10月30日(土)16:00 ※Webサイトで配信
講師 中瀬慎一郎氏(額装家)
視聴回数 58回

講評会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、作品展会場内では実施せず、書面配布（平面作品、彫刻・立体造形作品、書作品、写真作品）、および講評を収録しての動画配信（工芸作品）に代えた。

表彰式

日時 2021年12月11日（土）10:00 ※2021年12月21日（火）～2022年1月31日（月）の期間、Webサイトで動画を配信

会場 ミューザ川崎シンフォニーホール 研修室2・3

参加人数 7名（新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、最優秀賞受賞者とコミュゼ川崎大賞受賞者、関係者のみで開催した）



最優秀賞
菊地 彩香《ドロップが降る夜の夢》



コミュゼ川崎大賞
小林 優《多喜二蟹》

第55回 かわさき市美術展運営委員会

1. 設置要綱

かわさき市美術展の開催にあたり、専門的な知識や視点に基づき、市民の文化芸術の向上および円滑な事業運営を目的に設置する。

2. 委員構成

美術作家および美術評論家（3名）

学校美術教育関係者（1名）

川崎市市民文化局市民文化振興室担当課長（1名）

川崎市市民ミュージアム 館長（1名）

3. 開催

第55回かわさき市美術展第1回運営委員会

日時：2021年5月19日（水）

会場：川崎市市民ミュージアム会議室

議題：第55回かわさき市美術展募集内容について、審査員について

第55回かわさき市美術展第2回運営委員会

議題：第55回かわさき市美術展の実施報告

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、書面にて報告

第55回 かわさき市美術展 入賞・入選作品一覧

賞	部門	タイトル	制作者名
■入賞			
最優秀賞	平面	ドロップが降る夜の夢	菊地 彩香
優秀賞	工芸	つながる	松尾 雅子
優秀賞	書	龍翔鳳舞	中島 翠香
優秀賞	写真	2021年7月21日大学の風景	杉田 このみ
コミュゼ川崎大賞	中高生	多喜二蟹	小林 優
奨励賞	平面	新星児	水落 彩
奨励賞	平面	春、うらら-I/真鶴、漁港近く 及び、春、うらら-II/多摩川台公園の桜	黒崎 好太郎
奨励賞	彫刻・立体造形	つながる∞	おかもとめぐみ
奨励賞	工芸	清流	勝本 恵子
奨励賞	工芸	こころ	古家 郁子
奨励賞	書	米芾 蜀素帖	木川 智広
奨励賞	写真	Storm	DARU
奨励賞	写真	冬の川辺を歩いて	やまもとみえこ
審査員特別賞	平面	こどもの国の牛	永井 武志
審査員特別賞	平面	ブルーな私の想い	井澤 俊子
審査員特別賞	平面	空の国・海の国・地上の国	大平 久司
審査員特別賞	平面	退職祝花	中村 亀雙
審査員特別賞	平面	光の住処	渡辺 恵
審査員特別賞	平面	COLD SMOG SKY + n° 001	布施 新吾
審査員特別賞	彫刻・立体造形	TABIDACHI の唄	田平 徹
審査員特別賞	工芸	渦 uzu	柏倉 美由喜
審査員特別賞	工芸	絆・花畑の夢	栗原 豊子
審査員特別賞	工芸	信楽中鉢	松尾 俊一
審査員特別賞	工芸	HANA	福田 典子
審査員特別賞	書	千字文	瓜生 筑峯
審査員特別賞	書	心貫萬古	小澤 慶剛
審査員特別賞	書	不易流行	木下 清華
審査員特別賞	書	般若心経	坂本 守
審査員特別賞	写真	存在として美しいか、否か。	嶋崎 聡昭
審査員特別賞	写真	餌の争奪戦	庄司 精一
審査員特別賞	写真	山の住人	田島 仁
審査員特別賞	写真	人工色	光武 希
優秀賞	中高生	食害	東野 日向子
優秀賞	中高生	雨の中	日野 権太
優秀賞	中高生	歌姫の夢想曲	岩館 里奈
優秀賞	中高生	不群	川崎市立川崎高校 笠井咲良
優秀賞	中高生	ルキナと散歩にて	川崎市立川崎高校 鈴木日夏莉
■入選			
	平面	耕地/由利本荘	瀬川 寛
	平面	竜胆 II	安田 弥生
	平面	鬘アフリカ	黒沢 進士
	平面	水流	小松 俊之
	平面	水仙(植物画)	稲益 利彬
	平面	郷	栗野 敬三
	平面	(空想 No14) 丈比べ	吉村 保代
	平面	「跳る三角」	厩谷 孝子
	平面	花束	岡本 倭喜子
	平面	ハシビロコウ(絶滅危惧種)	柴田 憲武
	平面	ジャンダルム	須藤 健三郎
	平面	夏の2人っきりの湘南サーファー	大島 聖力
	平面	人生のシュプール	加藤 たえ子
	平面	B!rth	Mikako.s
	平面	禍は口から出て 病は口から入る	村田 眞一
	平面	あのころの街	近藤 まり子
	平面	故郷の風景	一二三 勝英
	平面	静かな夜	白井 弓乃
	平面	羽	永田 智子
	平面	れっといっとびー 2021年9月24日	作村 裕介
	平面	昇月・秋桜咲く頃	安藤 登志博
	平面	〇〇癒やし	茂木 治代
	平面	東京2020 + 1(厭離江戸)	安田 文夫
	平面	川崎大師大開帳奉修	大塚 健嗣
	平面	mind face 200	野口 貴子
	平面	秋日和	伊集院 公子
	平面	Transient	山崎 来
	平面	立葵	香山 幸子
	平面	その時の中で	小松 万里子
市民賞	平面	そこ	金崎 萌
	平面	元気な光	山森 冬美

賞	部門	タイトル	制作者名
	平面	無観客	松田 洋子
市民賞	平面	浮花美模様	阿久津 君江
市民賞	彫刻・立体造形	『木彫りの折り紙』～折り鶴～	佐久間 喬資
	彫刻・立体造形	誘う宇宙	砂田 紘子
	工芸	華	森屋 浩美
	工芸	祭り	遠藤 十二佳
	工芸	雲板（龍）	井上 龍喜
	工芸	「青の木立」	菅原 行男
	工芸	キラウエアの噴流	壁谷 庄太郎
市民賞	工芸	惜秋	神田 孝子
	工芸	光と影	一條 麻里子
	工芸	登龍門（鯉）	大原 弘美
	工芸	願	晝川 捷太郎
	工芸	Fleur de bonheur ～幸せの花	教誓 由香子
	書	顔真卿臨	熊谷 思石
	書	純美	英沖
市民賞	書	隸書（西晋）で書く唐詩	田代 翔溪
	書	カナリアのうた	井上 麻美
	書	安倍仲麿 百人一首	吉村 照子
	写真	勝どき橋	井上 圭一郎
	写真	こころ鏡	牧山 俊雄
市民賞	写真	なあ、ばあさん 今年も…	小野 悦子
	写真	『切り取られた時間』（クロアチア）	木村 敦子
	写真	夕景と瀧	雅輝
	写真	望洋	加納 良英
	写真	交差する街	鳴海 廣治
	写真	花筏	TAKA 丸
	写真	帰路	小坂 健太郎
市民賞	写真	マネキン	服田 脱白
	中高生	夜との境目	きりぼしにんじん
	中高生	希望	川崎市立富士見中学校 支援級
	中高生	私の世界	坂西 美季
	中高生	復興の街	城野 菜
	中高生	Mt.FUJI	城野 菜
	中高生	尊尚親愛	溝田 鈴
	中高生	緊禪一番	松本 桂吾
	中高生	トーキョー	益子 一志
	中高生	前進	川崎市立川崎高校 笠井咲良
	中高生	研墨	川崎市立川崎高校 佐伯菜那子
	中高生	曇天	川崎市立川崎高校 小佐野円花
	中高生	進撃	川崎市立川崎高校 谷口百華
	中高生	繋ぎ結ぶ あまのがわ（天野川）	川崎市立野川中学校 支援級
	中高生	8月16日	川崎市立川崎高校 仲間咲希
	中高生	瞳の先には	川崎市立川崎高校 福田結花
	中高生	生と死	磯ヶ谷 澄海



the 3rd Area of “C” —3 つめのミュージアム—



Web サイト内に新しく「the 3rd Area of “C” —3 つめのミュージアム—」をオープンし、オンラインで3つの展覧会を開催した。

今年度は2名の写真作家による「Trail 池田 葉子 / 小山 貢弘」、明治ポンチ本の魅力を紹介する「漫画の元祖？明治ポンチ本とはナニモノだ！？」、当館のアトリエにて指導員を務めていた作家の展覧会「第7回アトリエ指導員展『想起される風景』市野 悠 二井矢 春菜」を公開した。

※文化庁「文化施設の感染拡大予防・活動支援整備事業」補助金交付対象事業 (Web サイト構築費に対して交付)

A4 チラシ 20,000 部

【Trail 池田 葉子 / 小山 貢弘】ポストカード 500 部

【第7回アトリエ指導員展「想起される風景」市野 悠 二井矢 春菜】ポストカード 500 部

Trail 池田 葉子 / 小山 貢弘

会期 2021 年 12 月 23 日 (木) 10:00 ~ 2022 年 3 月 31 日 (木) 16:00
 日数 99 日間
 ページビュー数 3,506 回
 観覧料 無料
 主催 川崎市市民ミュージアム

写真家・池田葉子と小山貢弘による二人展。池田は休館中のミュージアム館内を、小山は等々力緑地付近の多摩川河川敷を被写体に、本展のために写真を撮り下ろした。池田と小山は、ふとした瞬間に思いがけず出会った名もなき空間や、人知れず繁殖と淘汰を繰り返す河川敷の植生に関心を寄せ、意識と無意識のはざまにある覚束ない世界や、人知の及ばない形態の変容を、写真というメディアを通して表現している。

そうした作家の眼差しを紹介するとともに、作家のインタビュー記事を掲載し、予期せず被災という出来事に触れ、派生してゆく作品表現への考察を試みた。また、本展では図録（税込 2,750 円）を製作し販売した。

漫画の元祖？明治ポンチ本とはナニモノだ！？

会期 2021 年 12 月 23 日 (木) 10:00 ~ 2022 年 3 月 31 日 (木) 16:00
 日数 99 日間
 ページビュー数 5,014 回
 観覧料 無料
 主催 川崎市市民ミュージアム
 協力 学習院大学人文科学研究科身体表象文化学専攻

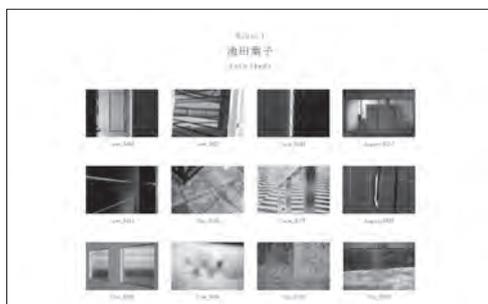
本展では当館が収蔵する「明治ポンチ本」のうち、被災前に学習院大学との共同研究によってデジタル化した 100 数点の内の一部を用いて展覧会を行った。近接する明治期の漫画や印刷文化資料から明治ポンチ本の成り立ちや漫画史における位置づけを紹介するだけでなく、デジタルの特性を生かした電子ブックの公開や、明治ポンチ本を実際に制作できるデータなども配布し、その魅力と歴史的な価値の再評価を行った。オンライン展示という事で、当館の漫画資料のデジタルアーカイブである、「川崎市市民ミュージアム漫画資料コレクション」も活用している。

第7回アトリエ指導員展「想起される風景」市野 悠 二井矢 春菜

会期 2022年2月1日(火) 10:00～2022年3月31日(木) 16:00
 日数 59日間
 ページビュー数 1,200回
 観覧料 無料
 主催 川崎市市民ミュージアム

2019年度に当館アトリエで版画制作の指導員を務めていた、市野悠と二井矢春菜の二人展を当館Webサイトに開催した。市野悠は、古い写真をもとに同じ場所へ行き、その体験をモチーフとした石版画を中心に制作しており、二井矢春菜は、身近な自然との出会いから生まれる小さな喜びをモチーフとし、シルクスクリーン作品を制作している。

展覧会では版画・立体作品を計40点紹介し、それらの作品を館内に展示した様子を撮影した映像・写真もあわせて公開した。加えて、本展の目的である「若手版画家の紹介」として、両作家が自身のアトリエで作品を制作する様子を撮影した映像も公開した。また、記録冊子(税込660円)を製作し販売した。



「Trail 池田 葉子 / 小山 貢弘」の各作家の作品ページ



「漫画の元祖? 明治ボンチ本とはナニモノだ!?'」のトップページと参り巻ページ



「第7回アトリエ指導員展『想起される風景』市野 悠 二井矢 春菜」のトップページと作品ページ

Trail 池田 葉子 / 小山 貢弘展 作品リスト

作品番号	作家名	作品名	制作年
I-1	池田 葉子	June_3408	2021
I-2	池田 葉子	June_3921	2021
I-3	池田 葉子	June_3445	2021
I-4	池田 葉子	August_5217	2021
I-5	池田 葉子	June_3455	2021
I-6	池田 葉子	May_3144	2021
I-7	池田 葉子	June_4119	2021
I-8	池田 葉子	August_5038	2021
I-9	池田 葉子	May_3000	2021
I-10	池田 葉子	June_3696	2021
I-11	池田 葉子	May_2746	2021
I-12	池田 葉子	May_2953	2021
I-13	池田 葉子	May_2908	2021
I-14	池田 葉子	May_2962	2021
I-15	池田 葉子	August_5037	2021
I-16	池田 葉子	June_3441	2021
I-17	池田 葉子	June_4066	2021
I-18	池田 葉子	August_4747	2021
I-19	池田 葉子	August_4634	2021
I-20	池田 葉子	August_5190	2021

作品番号	作家名	作品名	制作年
I-21	池田 葉子	August_4284	2021
I-22	池田 葉子	April_0734	2021
I-23	池田 葉子	April_1283	2021
I-24	池田 葉子	April_0851	2021
I-25	池田 葉子	April_1406	2021
I-26	池田 葉子	April_1007	2021
I-27	池田 葉子	June_3948	2021
K-1	小山 貢弘	川崎市中原区等々力	2021
K-2	小山 貢弘	川崎市中原区等々力	2021
K-3	小山 貢弘	川崎市中原区等々力	2021
K-4	小山 貢弘	川崎市中原区等々力	2021
K-5	小山 貢弘	川崎市中原区等々力	2021
K-6	小山 貢弘	川崎市中原区等々力	2021
K-7	小山 貢弘	川崎市中原区等々力	2021
K-8	小山 貢弘	川崎市中原区等々力	2021
K-9	小山 貢弘	川崎市中原区等々力	2021
K-10	小山 貢弘	川崎市中原区等々力	2021
K-11	小山 貢弘	川崎市中原区等々力	2021
K-12	小山 貢弘	川崎市中原区等々力	2021

※展示の作品番号と図録の作品番号は一致しない

漫画の元祖？明治ポンチ本とはナニモノだ！？ 掲載作品リスト

題名	作者	発行年	出版社 / 発行者	所蔵
壱ノ巻 明治ポンチ本とはナニモノだ！？ (掲載順)				
ポンチ	鈴木熊次郎 (編集)	明治32 (1899)年11月	三輪逸次郎 (印刷兼発行)	川崎市市民ミュージアム
内地雑居ポンチ	堤吉兵衛	明治32 (1899)年	堤吉兵衛 (著作印刷兼発行)	夜鳥文庫
絵本 豊臣勲功記 初編九	八功舎徳水 (作)、一勇斎国芳 (画)	不明		夜鳥文庫
改良ポンチ画あごはづし	鎌田在明	明治30 (1897)年11月	鎌田在明 (著作印刷兼発行)	夜鳥文庫
笑くらべポンチ画	鎌田在明	明治31 (1898)年7月	鎌田在明 (著作印刷兼発行)	夜鳥文庫
驚ポンチ	岡村庄兵衛	明治34 (1901)年11月	岡村庄兵衛 (著作印刷兼発行)	川崎市市民ミュージアム
驚ポンチ	岡村庄兵衛	明治34 (1901)年11月	岡村庄兵衛 (著作印刷兼発行)	川崎市市民ミュージアム
驚ポンチ	岡村庄兵衛	明治34 (1901)年11月	岡村庄兵衛 (著作印刷兼発行)	川崎市市民ミュージアム
たとゑポンチ	堤吉兵衛	明治32 (1899)年11月	堤吉兵衛 (著作印刷兼発行)	川崎市市民ミュージアム
文明ポンチ	鈴木與八	明治34 (1901)年1月	鈴木與八 (著作印刷兼発行)	川崎市市民ミュージアム
ポンチ 七	中島萬吉	明治32 (1899)年11月	中島萬吉 (著作印刷兼発行)	川崎市市民ミュージアム
小人嶋洋行朝比奈ポンチ	菅谷與吉	明治34 (1901)年12月	菅谷與吉 (画作印刷兼発行)	川崎市市民ミュージアム
新版カツパツポンチ	鎌田在明	明治31 (1898)年8月	鎌田在明 (著作印刷兼発行)	川崎市市民ミュージアム
ポンチの大将	長谷川園吉	明治30 (1897)年10月	長谷川園吉 (画作印刷兼発行)	川崎市市民ミュージアム
戦争ポンチ わしたいち	鍋木清方 (作画)	明治37 (1904)年7月	古今堂書店	川崎市市民ミュージアム
ヨクバリポンチ 第二号	皆川金太郎	明治31 (1898)年8月	皆川金太郎 (著作印刷兼発行)	川崎市市民ミュージアム
教育ポンチ考物大博士	不詳	不明		川崎市市民ミュージアム
新版ポンチ	菅谷與吉	明治37 (1904)年7月	菅谷與吉 (著作印刷兼発行)	川崎市市民ミュージアム
内地雑居ポンチ画談	倉持長七	明治34 (1901)年6月	倉持長七 (著作印刷兼発行)	川崎市市民ミュージアム
驚ポンチ	岡村庄兵衛	明治34 (1901)年11月	岡村庄兵衛 (著作印刷兼発行)	川崎市市民ミュージアム
貳ノ巻 明治ポンチ本はどこから来たか (掲載順)				
JAPAN PUNCH (創刊号)	チャールズ・ワグマン	文久2 (1862)年5月		川崎市市民ミュージアム
JAPAN PUNCH (1962年6月号) 無題 (諷刺画)	チャールズ・ワグマン	文久2 (1862)年6月		川崎市市民ミュージアム
絵新聞 日本地 (創刊号) 無題 (諷刺画)	仮名垣魯文、河鍋暁斎	明治7 (1874)年6月		京都精華大学国際マンガ研究センター / 京都国際マンガミュージアム
於東京絵 団団珍聞 (創刊号)	団団社	明治10 (1877)年3月	団団社	川崎市市民ミュージアム
於東京絵 団団珍聞 (73号) 無題 (諷刺画)	団団社	明治11 (1878)年8月	団団社	夜鳥文庫
月とスッポンチ (12号)	興聚社	明治14 (1881)年1月	興聚社	夜鳥文庫
我楽多珍報 (66号)	浮西京絵社	明治14 (1881)年4月	浮西京絵社	夜鳥文庫
能弄戯珍誌 (創刊号)	珍々社	明治14 (1881)年4月	珍々社	夜鳥文庫
日本一誌 驥尾団子 (143号)	団団社	明治14 (1881)年7月	団団社	川崎市市民ミュージアム
藪をつついて大蛇をだす				
於東京絵 団団珍聞 (875号) コマ漫画	小林清親 (画)	明治25 (1892)年	団団社	川崎市市民ミュージアム
於東京絵 団団珍聞 (880号) コマ漫画	小林清親 (画)	明治25 (1892)年	団団社	川崎市市民ミュージアム
時事新報 喧嘩の立消	今泉一瓢 (画)	明治26 (1893)年7月	時事新報社	夜鳥文庫
北斎漫画 初編	葛飾北斎 (画)	文化11 (1828)年	永楽屋東四郎	川崎市市民ミュージアム
日本の少年 過ぎたるは及ばず	博文館	明治23 (1890)年4月	博文館	夜鳥文庫
幼年雑誌 無題 (コマ漫画)	小林清親 (画)	明治27 (1894)年8月	博文館	夜鳥文庫
ポンチ教育考絵ばなし	加藤福次郎 (画)	明治26 (1893)年12月	耕書堂	夜鳥文庫
滑稽画談 長短之巻完	田口米作 (作画)	明治28 (1895)年12月	団団社	川崎市市民ミュージアム
我軍九連城ノ敵兵ヲ攻撃ス	安達吟光 (画)	明治27 (1894)年10月	福田熊次郎	川崎市市民ミュージアム
日清戦争我軍 鳳凰城乗取之図	英一 (画)	明治27 (1894)年11月	堤吉兵衛	川崎市市民ミュージアム
日本萬歳 百撰百笑	小林清親 (画)、骨皮道人 (文)	明治28 (1895)年2月	松木平吉	川崎市市民ミュージアム
絵本賤ヶ嶽戦記 全	荒川藤兵エ	明治24 (1891)年	荒川藤兵エ (著作印刷兼発行)	夜鳥文庫
滑稽新聞 (創刊号)	滑稽新聞社	明治34 (1901)年1月	滑稽新聞社	川崎市市民ミュージアム
時事新報 「時事漫画」欄	北澤楽天 (画)	明治35 (1902)年1月	時事新報社	夜鳥文庫
東京バック (1巻2号) 軍国内閣大臣の肖像	北澤楽天 (画)	明治38 (1905)年5月	有楽社	川崎市市民ミュージアム
近時画報改題 戦時画報 (6号)	近時画報社	明治37 (1904)年4月	近時画報社	夜鳥文庫
勿驚ポンチ 旅順の陥落 旅順の敵艦沈没	安田蕉堂 (画)	明治37 (1904)年8月	富里長松	川崎市市民ミュージアム
教育女礼式	綱島亀吉	明治39 (1906)年3月	綱島亀吉 (画作印刷兼発行)	夜鳥文庫
最新絵本 トウサン正チャン ムチャ旅行	大川屋書店	大正15 (1926)年	大川屋書店 (画作印刷兼発行)	夜鳥文庫
スピード太郎 漫画ノ近藤勇	中村惣次郎	昭和11 (1936)年6月	中村惣次郎 (画作印刷兼発行)	川崎市市民ミュージアム
参ノ巻 読んでみよう！明治ポンチ本 (掲載順)				
ポンチの大将	長谷川園吉	明治30 (1897)年10月	長谷川園吉 (編集印刷兼発行)	川崎市市民ミュージアム
教育ポンチ博士	山田米吉	明治31 (1898)年	山田米吉 (著作印刷兼発行)	川崎市市民ミュージアム
ヨクバリポンチ 第二号	皆川金太郎	明治31 (1898)年8月	皆川金太郎 (著作印刷兼発行)	川崎市市民ミュージアム
新版カツパツポンチ	鎌田在明	明治31 (1898)年8月	鎌田在明 (著作印刷兼発行)	川崎市市民ミュージアム
■■ポンチ集	岡村庄兵衛	明治31 (1898)年9月	岡村庄兵衛 (著作印刷兼発行)	川崎市市民ミュージアム
内地雑居ポンチ画ばなし	堤吉兵衛	明治32 (1899)年7月	堤吉兵衛 (著作印刷兼発行)	川崎市市民ミュージアム
内地雑居新案ポンチ	日比野藤太郎	明治32 (1899)年9月	日比野藤太郎 (画作印刷兼発行)	川崎市市民ミュージアム

題名	作者	発行年	出版社 / 発行者	所蔵
ポンチ	鈴木熊次郎 (編集)	明治32 (1899)年11月	三輪逸次郎 (印刷兼発行)	川崎市市民ミュージアム
ポンチ 七	中島萬吉	明治32 (1899)年11月	中島萬吉 (著作印刷兼発行)	川崎市市民ミュージアム
たとえポンチ	堤吉兵衛	明治32 (1899)年11月	堤吉兵衛 (著作印刷兼発行)	川崎市市民ミュージアム
文明ポンチ	鈴木與八	明治34 (1901)年1月	鈴木與八 (著作印刷兼発行)	川崎市市民ミュージアム
驚ぼんち	岡村庄兵衛	明治34 (1901)年12月	岡村庄兵衛 (画作印刷兼発行)	川崎市市民ミュージアム
小人嶋洋行 朝比奈ポンチ	菅谷興吉	明治34 (1901)年12月	菅谷興吉 (編集印刷兼発行)	川崎市市民ミュージアム
親睦愉快ポンチ	富里長松	明治35 (1902)年4月	富里長松 (画作印刷兼発行)	川崎市市民ミュージアム
珍世界旅行	浅野文三郎	明治34 (1901)年8月	浅野文三郎 (著作印刷兼発行)	川崎市市民ミュージアム
新版ポンチ博士	不詳	不明		川崎市市民ミュージアム

第7回アトリエ指導員展「想起される風景」市野 悠 二井矢 春菜 掲載作品リスト

作品番号	制作者	作品名 /title	技法素材	寸法	制作年	所蔵
1	市野 悠	Untitled	石版画、クレヨン	43.5 × 30.0cm	2021	作家蔵
2	市野 悠	近く、遠く/Close and far	鉛筆	26.3 × 15.0cm	2021	作家蔵
3	市野 悠	雪解 一/Spring Thaw 1	石版画	20.0 × 27.0cm	2021	作家蔵
4	市野 悠	雪解 二/Spring Thaw 2	石版画	20.0 × 27.0cm	2021	作家蔵
5	市野 悠	山を越える/Over the Mountain	石版画	27.0 × 20.0cm	2020	作家蔵
6	市野 悠	森を抜ける/Go through the Forest	石版画	20.0 × 27.0cm	2020	作家蔵
7	市野 悠	ちぎる 二/Chigiru 2 split/vows	石版画	30.0 × 43.5cm	2019	作家蔵
8	市野 悠	脈 四/Myaku 4 pulse/mountain range	石版画	77.5 × 54.0cm	2019	作家蔵
9	市野 悠	脈 三/Myaku 3 pulse/mountain range	石版画	77.5 × 54.0cm	2018	作家蔵
10	市野 悠	水に入る 二/Get into the water 2	石版画	14.0 × 20.0cm	2018	作家蔵
11	市野 悠	振り返る 八/Look back 8	石版画	57.0 × 111.0cm	2018	作家蔵
12	市野 悠	振り返る 五/Look back 5	石版画	73.5 × 56.0cm	2017	作家蔵
13	市野 悠	振り返る 四/Look back 4	石版画	30.0 × 43.5cm	2017	作家蔵
14	市野 悠	無常 二/Evanescence 2	石版画	23.5 × 32.2cm	2016	作家蔵
15	市野 悠	無常/Evanescence	石版画	51.5 × 78.0cm	2015	作家蔵
16	市野 悠	美術館の石/Museum Stone	川崎市市民ミュージアムのアトリエで使われていたリトグラフインク、蠟	(victoria) 7.5 × 3.0 × 2.5cm	2021	作家蔵
17	市野 悠	Land e scape (黒)/Land e scape (black)	紙、針金	25.0 × 50.0 × 30.0cm	2019	作家蔵
18	市野 悠	海綿/Spongeman	ダーマトグラフ	3.3 × 13.0 × 9.0cm	2018	作家蔵
19	市野 悠	Land e scape (島)/Land e scape (island)	紙、糸	10.0 × 23.0 × 17.0cm	2018	作家蔵
20	市野 悠	Land e scape (岩)/Land e scape (rock)	紙、糸	12.0 × 21.0 × 15.0cm	2018	作家蔵
21	二井矢 春菜	Fluff season	シルクスクリーン	80.0 × 120.0cm	2021	作家蔵
22	二井矢 春菜	Fluff season in the night	シルクスクリーン	80.0 × 120.0cm	2021	作家蔵
23	二井矢 春菜	Orange flower	シルクスクリーン	16.0 × 14.3cm	2021	作家蔵
24	二井矢 春菜	Ume tree	シルクスクリーン	80.0 × 80.0cm	2021	作家蔵
25	二井矢 春菜	春に見た風景/Scenes from the Spring	シルクスクリーン	29.5 × 21.0cm	2021	作家蔵
26	二井矢 春菜	Glassy knol dusk	シルクスクリーン	80.0 × 120.0cm	2021	作家蔵
27	二井矢 春菜	ちょっとひと休み/Take a break	シルクスクリーン	15.5 × 15.8cm	2021	作家蔵
28	二井矢 春菜	綿毛の季節/Fluff season	シルクスクリーン	38.5 × 39.0cm	2021	作家蔵
29	二井矢 春菜	a moment	シルクスクリーン	29.5 × 21.0cm	2020	作家蔵
30	二井矢 春菜	いつも私の家にインヒヨドリはとまりにくる/ Blue rock thrush always comes to my house	シルクスクリーン	60.5 × 50.0cm	2020	作家蔵
31	二井矢 春菜	草むらおいかけっこ/Glassy catch and run	シルクスクリーン	20.0 × 29.0cm	2019	作家蔵
32	二井矢 春菜	田園の鷺/Heron in the rural	シルクスクリーン	80.0 × 120.0cm	2018	作家蔵
33	二井矢 春菜	雪を見た犬たち/Dogs looking at the snow	シルクスクリーン	15.0 × 15.0cm	2018	作家蔵
34	二井矢 春菜	行く春/Yu ku ha ru	シルクスクリーン	38.5 × 49.7cm	2018	作家蔵
35	二井矢 春菜	デパートの窓/Department Store Window	シルクスクリーン	36.5 × 26.0cm	2017	作家蔵
36	二井矢 春菜	昼間の月/Moon in the time	シルクスクリーン	100.0 × 150.0cm	2016	作家蔵
37	二井矢 春菜	家鴨の池/Duck Pond	シルクスクリーン	16.5 × 23.5cm	2015	作家蔵
38	二井矢 春菜	BIRD TREE	シルクスクリーン	28.5 × 24.5cm	2015	作家蔵
39	二井矢 春菜	Corn poppy	シルクスクリーン	15.0 × 15.0cm	2015	作家蔵
40	二井矢 春菜	緑をはこぶもの/The green carriers	陶	3.0 × 5.0 × 1.4cm	2017	作家蔵

動画番号	制作者	映像名	収録時間	制作年	所蔵
1	市野 悠、川崎市市民ミュージアム	市野 悠 制作の様子とインタビュー映像	6分17秒	2022	川崎市市民ミュージアム
2	二井矢 春菜、川崎市市民ミュージアム	二井矢 春菜 制作の様子とインタビュー映像	6分13秒	2022	川崎市市民ミュージアム
3	市野 悠、二井矢 春菜、川崎市市民ミュージアム	館内展示映像	8分22秒	2022	川崎市市民ミュージアム

企画展

鉄道操車場物語 —新鶴見から塩浜へ—



会場	ミュージアム川崎シンフォニーホール 企画展示室・研修室 4
会期	2022年2月3日(木)～2月16日(水)
日数	14日間
入場者数	3,219人
観覧料	無料
主催	川崎市市民ミュージアム

交通の要衝に位置し、工業都市としての役割を果たしてきた川崎は、鉄道貨物の分野でも重要な位置づけを持ってきた。今回の展覧会では、川崎をめぐる鉄道の中でも、貨物鉄道に光を当てた。神奈川臨海鉄道や JR 貨物新鶴見信号場といった川崎市内に現存する貨物鉄道の機関の資料調査の成果を報告するという意味合いもある。

前半では、「東洋一」とも称された新鶴見操車場を中心に取り上げた。操車場は、全国から多くの貨車を集め、それぞれ新たな方面へと再編成する鉄道貨物輸送の要となる役割を持っていた。その運営には多くの要員と複雑なオペレーションが必要で、当時の国鉄という巨大組織を象徴するものでもあった。

こうした巨大操車場は国鉄が JR へと変わっていく段階で消えていったが、現在でも川崎市内では、臨海部を中心に多くの鉄道貨物が取り扱われている。後半では、塩浜操駅（現・川崎貨物駅）を中心に、工業都市川崎の形成と鉄道貨物の移り変わりに光を当てた。

A4 チラシ 25,000部 B3 ポスター 200部
函録 1,500部（税込 1,500円）

関連イベント

オンライン史跡めぐり「川崎の鉄道操車場 —今昔めぐり— (オンライン)」

期間 2021年11月16日(火) 10:00～2022年2月16日(水) 16:00 ※ Web サイトで配信

講師 高嶋修一氏(青山学院大学経済学部教授)、鈴木勇一郎(川崎市市民ミュージアム学芸員)

視聴回数 3,387回

※紹介動画視聴回数 144回(2022年1月25日(火)～2月16日(水)の間にYouTubeで公開)

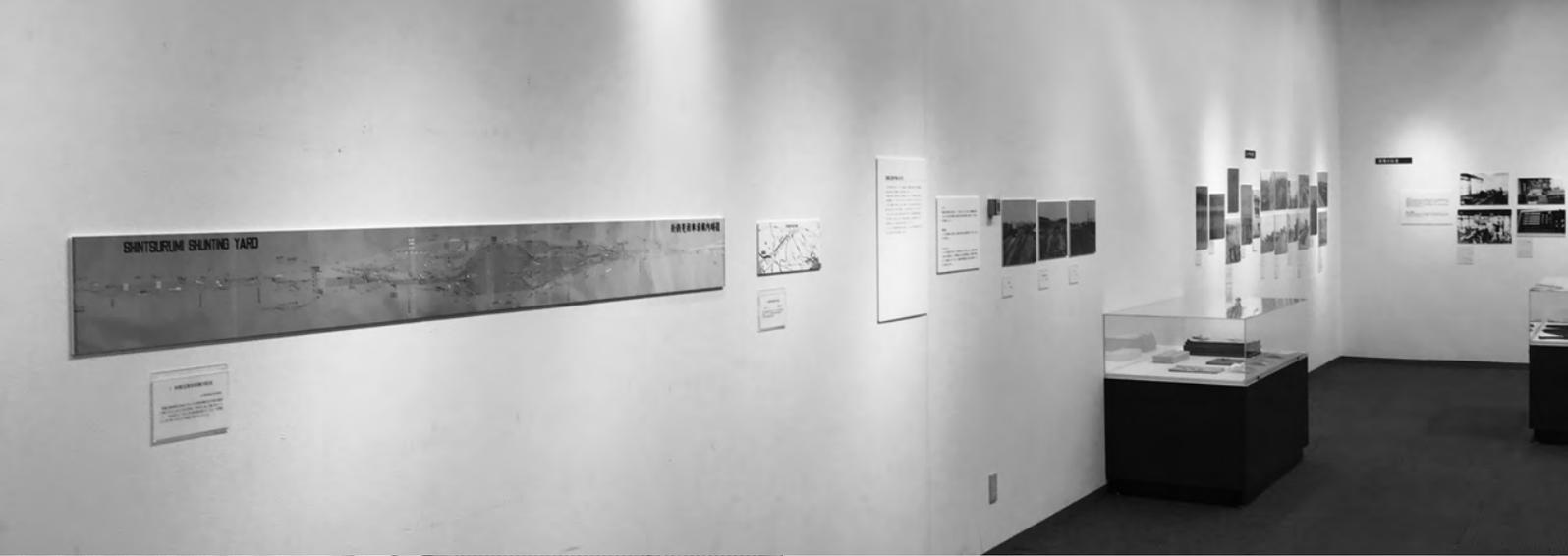
講演会「川崎の貨物鉄道 —過去と現在—」

講師 鈴木勇一郎(川崎市市民ミュージアム学芸員)

日時 2022年2月12日(土) 14:00～16:00

会場 川崎市産業振興会館 11階 第6会議室

参加者数 29名



鉄道操車場物語 —新鶴見から塩浜へ— 出品目録

番号	資料名	年代	所蔵・撮影・備考	
第1章 新鶴見操車場				
1	新鶴見操車場構内略図	昭和40～50年代	JR貨物新鶴見信号場	※
2	鶴操誌	昭和5年	JR貨物新鶴見信号場	
3	品鶴間貨物線平面図	昭和4年	国立国会図書館／『帝国鉄道協会会報』30巻10号	※
4	新鶴見操車場 一週年記念	昭和5年	JR貨物新鶴見信号場	
5	上り群線	昭和5年	『新鶴見操車場一週年記念』	※
6	機関庫附近遠望	昭和5年	『新鶴見操車場一週年記念』	※
7	下り群線	昭和5年	『新鶴見操車場一週年記念』	※
8	新鶴見操車場の一日	昭和33年	公益財団法人交通協会／『国鉄線』昭和33年10月号	※
9	現場拝見 新鶴見操車場	昭和34年	公益財団法人交通協会／『交通技術』昭和34年9月号	※
10	鶴操年覧	昭和20～30年代	JR貨物新鶴見信号場	
11	方面別車数出入表	昭和27年	JR貨物新鶴見信号場	※
12	新鶴見を中心とする東京近郊線路略図	昭和27年	JR貨物新鶴見信号場	※
13	空から見た新鶴見操車場	昭和30年ごろ	神奈川県立公文書館	※
14	ハンプから仕訳線方向を望む	—	JR貨物新鶴見信号場	※
15	仕訳線に向かう貨車	—	JR貨物新鶴見信号場	※
16	下りハンプ集中	—	JR貨物新鶴見信号場	※
17	押上げ用機関車	昭和30年代	菅野泰男氏	※
18	ハンプ押上げ	昭和43年	堀井純一氏撮影	※
19	機関車でハンプに押し上げられる貨車	昭和30年ごろ	神奈川県立公文書館	※
20	ハンプを下る貨車	昭和41年	福原邦夫氏撮影	※
21	ハンプから仕訳線を望む	—	JR貨物新鶴見信号場	※
22	散転中の貨車	—	JR貨物新鶴見信号場	※
23	カーリターダー	—	JR貨物新鶴見信号場	※
24	カーリターダーを通る貨車	昭和41年	福原邦夫氏撮影	※
25	カーリターダーを通る無蓋貨車	—	JR貨物新鶴見信号場	※
26	仕訳線に並んだ貨車	昭和30年代	菅野泰男氏	※
27	貨車車票	昭和43年	菅野泰男氏	※
28	テレタイプ室	昭和20年代	JR貨物新鶴見信号場	※
29	信号扱所の内部	昭和20年代	JR貨物新鶴見信号場	※
30	信号扱所内の連絡設備	昭和40年代	JR貨物新鶴見信号場	※
31	貨車自動仕訳装置	昭和40年代	JR貨物新鶴見信号場	※
32	双眼鏡ケース	昭和40年代	JR貨物新鶴見信号場	
33	統括助役用手旗	—	JR貨物新鶴見信号場	
34	溢光式投光照明	昭和5年	JR貨物新鶴見信号場／『新鶴見操車場一週年記念』	※
35	構内の夜景	昭和20年代	JR貨物新鶴見信号場	※
36	照明設備ルックス図	昭和20年代	JR貨物新鶴見信号場	※
37	昭和六年度無事故表彰記念絵葉書	昭和6年ごろ	JR貨物新鶴見信号場	
38	昭和六年度無事故表彰記念絵葉書	昭和6年ごろ	JR貨物新鶴見信号場	
39	貨車入換作業の訓練	昭和30年ごろ	JR貨物新鶴見信号場	
40	貨車入換作業の訓練	昭和30年ごろ	JR貨物新鶴見信号場	
41	貨車入換作業の訓練	昭和30年ごろ	JR貨物新鶴見信号場	
42	貨車入換作業の訓練	昭和30年ごろ	JR貨物新鶴見信号場	
43	貨車入換作業の訓練	昭和30年ごろ	JR貨物新鶴見信号場	
44	貨車入換作業の訓練	昭和30年ごろ	JR貨物新鶴見信号場	
45	貨車入換作業の訓練	昭和30年ごろ	JR貨物新鶴見信号場	
46	貨車入換作業の訓練	昭和30年ごろ	JR貨物新鶴見信号場	
47	国鉄機関士制帽	—	菅野泰男氏	
48	国鉄作業帽	—	菅野泰男氏	
49	官舎村全景	昭和5年ごろ	JR貨物新鶴見信号場／『新鶴見操車場一週年記念』	※
50	職員用電車	—	JR貨物新鶴見信号場	※
51	鉄道開業80周年を祝う人々	昭和27年	JR貨物新鶴見信号場	※
52	運動会	—	JR貨物新鶴見信号場	※
53	大阪行貨物は直行貨物列車で	昭和38年ごろ	個人	
54	急行貨物列車さかえ号	昭和38年ごろ	個人	
55	新鶴見機関区	昭和30年代	川崎市市民ミュージアム	※
56	新鶴見機関区	昭和41年	福原邦夫氏撮影	※
57	蒸気機関車による入換作業	昭和42年	福原邦夫氏撮影	※
58	入換用ディーゼル機関車	昭和54年	植松昌氏撮影	※
59	スローガンが描かれた機関車	昭和43年	菅野泰男氏	※
60	スローガンが描かれた機関車	昭和43年	菅野泰男氏	※
61	スローガンが描かれた機関車	昭和43年	菅野泰男氏	※

番号	資料名	年代	所蔵・撮影・備考	
第2章 塩浜操車場と神奈川臨海鉄道				
62	浅野セメント株式会社川崎工場写真	昭和初期	川崎市市民ミュージアム	※
63	東京湾埋立株式会社社埋立平面図	大正末ごろ	川崎市市民ミュージアム	
64	飛行機ヨリ見タル川崎工場	－	川崎市市民ミュージアム	※
65	工業港湾川崎市略図	昭和6年ごろ	川崎市市民ミュージアム	
66	工場は川崎へ	昭和9年	川崎市市民ミュージアム	
67	神奈川県営京浜工業地帯埋立地案内	昭和16年	川崎市市民ミュージアム	
68	川崎都市計画図	昭和32年	川崎市市民ミュージアム	
69	浜川崎駅構内	昭和30年代	川崎市市民ミュージアム	※
70	神奈川臨海鉄道免許関係書類	昭和38年	国立公文書館	※
71	塩浜操車場貨物扱所看板	－	神奈川臨海鉄道株式会社	
72	建設工事中の塩浜操車場	昭和38年	菅野泰男氏	※
73	建設工事中の塩浜操車場	昭和38年	菅野泰男氏	※
74	稼働を始めた塩浜操車場	昭和40年ごろ	川崎市市民ミュージアム	※
75	稼働を始めた塩浜操車場	昭和40年ごろ	川崎市市民ミュージアム	※
76	塩浜操車場の構内	－	川崎市市民ミュージアム	※
77	港湾地区の倉庫で荷役中の貨車	－	川崎市市民ミュージアム	※
78	スタッフ	－	神奈川臨海鉄道株式会社	
79	DD5513 機関車銘板	－	神奈川臨海鉄道株式会社	
80	ディーゼル機関車鐘	－	神奈川臨海鉄道株式会社	
81	機関車に装備されていた鐘	－	菅野泰男氏	※
82	神奈川臨海鉄道制帽	－	神奈川臨海鉄道株式会社	
83	神奈川臨海鉄道制服	－	神奈川臨海鉄道株式会社	
第3章 操車場と国鉄分割民営化				
84	新川崎駅の開業	昭和55年	菅野泰男氏	※
85	操車場廃止後構内に留置された貨車群	昭和59年	福原邦夫氏撮影	※
86	操車場廃止後構内に留置された貨車群	昭和59年	福原邦夫氏撮影	※
87	新鶴見操車場関係書類	昭和59年	川崎市公文書館	※
88	新川崎駅周辺地区整備計画調査報告書	昭和60年	川崎市公文書館	※
89	国鉄を再建する方法はこれしかない	昭和59年	個人	
90	国鉄売却予定地見学バスツアー	昭和61年	立教大学共生社会研究センター	
91	JNR 編集 時刻表	昭和62年	個人	
92	新鶴見操車場跡の再開発地区	令和3年	鈴木勇一郎撮影	※
93	ハンブ跡を望む	令和3年	鈴木勇一郎撮影	※
94	仕訳線跡を望む	令和3年	鈴木勇一郎撮影	※
95	現在の川崎貨物駅	令和3年	鈴木勇一郎撮影	※
96	川崎貨物駅に停車するコンテナ貨物列車	令和3年	鈴木勇一郎撮影	※
97	クリーンかわさき号を牽引するEF65形機関車	－	川崎市環境局	※
98	クリーンかわさき号専用コンテナ	－	川崎市環境局	※
番外編				
99	軌道敷設ヲ必要トスル理由書（部分）	昭和19年	国立公文書館	※
100	川崎市電沿革図	－	菅野泰男氏	※
101	川崎駅前に停車する701号	昭和43年	菅野泰男氏	※
102	浜町三丁目停留所の市電	昭和43年	菅野泰男氏	※
103	川崎市電607号車ヘッドライト	昭和20～40年代	菅野泰男氏	
104	川崎市電607号車の方向幕	昭和20～40年代	菅野泰男氏	
105	川崎市章小旗	－	菅野泰男氏	
106	川崎市電ブレーキハンドル	昭和20～40年代	菅野泰男氏	
107	川崎市電路線図	昭和40年代	菅野泰男氏	
108	市電廃止の案内	昭和44年	菅野泰男氏	
109	廃止の看板を掲出した川崎市電	昭和44年	菅野泰男氏	※
110	終点附近のトロリーバス	－	川崎市市民ミュージアム	※
111	廃止当日のトロリーバス	昭和42年	菅野泰男氏	※
112	トロリーバスの廃車体	－	鈴木勇一郎撮影	※

※は写真パネルによる展示

川崎市市民ミュージアム出張 タヤけ上映会



会場	等々力緑地 催し物広場
会期	2021年10月30日(土) 17:30～19:30
日数	1日間
来場者数	155名
観覧料	事前申込制 一般600円・高校生以下400円 (※未就学児、障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者無料)
主催	川崎市市民ミュージアム
協力	国立映画アーカイブ
技術協力	株式会社東真トリニティー、有限会社鈴木映画

令和元年東日本台風の被災により休館中であるため、市民ミュージアムが位置する等々力緑地内の催し物広場に仮設スクリーンと座席を設置し、1日間限定の野外上映会を実施した。

2021年に生誕120周年を迎えた円谷英二が監修し、川崎市にゆかりのある映画監督、実相寺昭雄が監督した『実相寺昭雄監督作品 ウルトラマン』と、神奈川県内の施策と事業をPRするために制作されたニュース映画「神奈川ニュース」の中でも川崎市に関連した映像が記録された「川崎市政ニュース映画」の一部を上映した。

※新型コロナウイルス感染症対策として事前申込制とし、十分な間隔を空けて鑑賞いただけるよう、席数を最大200席と限定して実施した。

※文化庁「ARTS for the future!」補助金交付対象事業

上映作品

「川崎市政ニュース映画」(計4作品)

- ニュース No.1185 『等々力緑地は花と緑がいっぱい』(2000年/カラー/スタンダード/2分)
- ニュース No.843 『よみがえるニヶ領用水』(1986年/カラー/スタンダード/2分)
- ニュース No.31 『くみ取りの機械化』(1952年/モノクロ/スタンダード/30秒)
- ニュース No.1147 『開館10周年 市民ミュージアム』(1998年/カラー/スタンダード/2分)

『実相寺昭雄監督作品 ウルトラマン』

(1979年/カラー/スタンダード/104分/監督:実相寺昭雄)



教育普及



教育普及

学校や地域との連携を図るとともに、市民ミュージアムを身近に感じ活用してもらえよう事業を展開する。

(1) 市民ミュージアムの活動に対する関心を広く呼び起こす事業

市民に開かれた生涯学習及び知的交流の場として、講座やセミナー、ワークショップ、史跡見学等の活動を実施することで、川崎の歴史や文化芸術などを学ぶ機会を創出し、市民の文化活動を支援している。

事業名	講座名	回数	日程	参加人数	
博物館プログラム	史跡めぐり	梅の香りとともに 歩く二ヶ領用水と 大山街道	2回	2月23日、3月5日	10名、8名
美術館プログラム	絵画 ワークショップ	見えてくる風景 写真をもとに絵を 描いてみよう	1回	8月29日	6名
映画プログラム	フィルム ワークショップ	さわれるシネマ～フィ ルムでアニメーションを つくってみよう～	2回	8月1日午前、午後	55名
企画展 関連事業	給水開始100年 —近代川崎を切り 拓いた水道—	うれしい蛇口 コンテスト	応募作品展示	10月1日～11月28日	481作品 (応募作品数)
		学芸員による展示解説	2回	10月17日、11月21日	10名、11名
		記念講演会「近代水道 が作った都市・川崎」	1回	10月31日	29名
	第 55 回 かわさき市美術展	オンラインセミナー 「写真作品発表マニ ュアル」	Web配信	7月30日～12月25日	691回(閲覧数)
		オンライン対談 「コンテストの魅力」	Web配信	9月1日～12月25日	124回(閲覧数)
		オンラインセミナー 「額縁のお話」	Web配信	9月23日～10月30日	58回(閲覧数)
		講評会	書面配布 (平面、彫刻・立体造形、 書、写真作品)	-	-
	鉄道操車場物語 —新鶴見から塩浜 へ—	オンライン史跡めぐり 「川崎の鉄道操車場 —今昔めぐり—」	Web配信	11月16日～2月16日	3,387回 (閲覧数)
		関連講演会 「川崎の貨物鉄道 —過去と現在—」	1回	2月12日	29名
		表彰式	1回	12月11日	7名
学芸員 研究発表	映写室へようこそ!	Web配信	7月30日～10月28日	328回(閲覧数)	
	入門! 修復とは何なのか	Web配信	9月3日～12月2日	195回(閲覧数)	
	川崎市 市民ミュージアム 講座(オンライン)	Web配信	9月24日～12月23日	208回(閲覧数)	
	昔の漫画に詳しくな ろう! 「正チャンの冒険」 編	Web 配信	10月29日～1月27日	630回(閲覧数)	
	川崎大師と初期の 京浜電気鉄道	Web 配信	12月24日～3月24日	297回(閲覧数)	

(2) 子どもたち及び青少年の学習活動及び体験活動を支援する事業

次代を担う子どもたちや青少年を対象として、市民ミュージアムの収蔵品、研究成果等を活用し、市内の小中学校等と連携した学校での学習単元及び社会体験に沿ったプログラムを企画・実施した。

事業名	講座名	回数	日程	参加人数
学校出張プログラム スクールプログラム	大師高校（インタビュー）	中止 (新型コロナウイルス 感染症拡大防止のため)	(9月22日)	—
	宮内小学校（インタビュー）	1回	1月27日	17名
	アートカード製作・活用	Web配信	3月22日～	—
ミュージアムプログラム	寺子屋ゆりっ子 (勾玉づくりワークショップ)	1回	11月27日	15名
社会科教育推進事業 出張授業	浅田小		7月9日	48名
	日吉小		7月15日	171名
	田島小	中止 (新型コロナウイルス 感染症拡大防止のため)	(9月7日)	(65名)
	さくら小	中止 (新型コロナウイルス 感染症拡大防止のため)	(9月13日)	(52名)
	富士見台小		9月17日、9月22日	155名
	宮崎小	中止 (新型コロナウイルス 感染症拡大防止のため)	(9月24日)	(220名)
	百合丘小		9月28日、9月30日	143名
	真福寺小		10月1日	50名
	南原小		10月5日	42名
	西梶ヶ谷小		10月7日	85名
	稲田小		10月14日	133名
	小田小		10月15日	92名
	南生田小		10月18日	165名
	四谷小		10月21日	64名
	菅小		10月26日	141名
	木月小		10月28日	63名
	大師小		10月29日	91名
	南河原小		11月2日	57名
	下平間小		11月4日	62名
	古川小		11月11日、11月12日	178名
	南野川小		11月15日	56名
	虹ヶ丘小		11月19日	36名
	御幸小		11月22日	158名
	西御幸小		11月25日	45名
	住吉小		11月30日	81名
	東小田小		12月1日	45名
	南菅小		12月2日	31名
	東小倉小		12月6日	99名
	平間小		12月10日	90名
	登戸小		12月14日	120名
	麻生小		12月17日	120名
	宿河原小		12月20日	149名
	旭町小		12月21日	94名
	坂戸小		12月23日	117名
西野川小		1月11日	64名	
久末小		1月13日	113名	
今井小		1月14日	117名	

事業名	講座名	回数	日程	参加人数
出張授業	東柿生小	中止 (新型コロナウイルス 感染症拡大防止のため)	(1月18日)	(75名)
	上作延小		1月21日	121名
	柿生小		1月24日	134名
	有馬小	中止 (新型コロナウイルス 感染症拡大防止のため)	(1月26日)	(60名)
	古市場小	中止 (新型コロナウイルス 感染症拡大防止のため)	(2月1日)	(68名)
	東門前小	※リモート授業	2月7日	161名
	下河原小		2月8日	38名
	藤崎小		2月10日	107名
	東住吉小		2月14日	84名
	夢見ヶ崎小	中止 (新型コロナウイルス 感染症拡大防止のため)	(2月18日)	(81名)
	梶ヶ谷小		2月22日	143名
	宮内小		2月24日	137名
	向小		3月1日	50名
	大島小		3月2日	48名
	橘小		3月7日	129名
	苅宿小		3月11日	93名
	社会科教育推進事業	体験グッズ貸出	中原小	9月6日
新城小			9月16日	113名
中野島小			10月13日	143名
下作延小			10月26日	89名
新作小			10月29日	84名
末長小			11月9日	199名
下沼部小			11月20日	189名
東大島小			12月6日	38名
小杉小			1月17日	94名
ワークブック配布			田島小	
	南菅小		6月18日	34名
	さくら小		6月24日	55名
	浅田小		6月24日	49名
	日吉小		6月25日	178名
	百合丘小		8月23日	149名
	南生田小		8月23日	172名
	富士見台小		8月23日	161名
	宮崎小		8月23日	220名
	稲田小		8月23日	139名
	西梶ヶ谷小		8月23日	90名
	上作延小		8月23日	125名
	片平小		8月23日	122名
	西野川小		8月23日	67名
	梶ヶ谷小		8月25日	155名
	はるひ野小		8月31日	190名
	久末小		9月2日	120名
長尾小		9月2日	35名	
東小倉小		9月3日	105名	

事業名	講座名	回数	日程	参加人数
社会科教育推進事業 ワークブック配布	中原小		9月6日	146名
	新城小		9月10日	117名
	真福寺小		9月13日	55名
	東高津小		9月13日	178名
	宮崎台小		9月20日	158名
	犬蔵小		9月29日	224名
	大師小		9月29日	94名
	下平間小		10月2日	65名
	平間小		10月2日	92名
	木月小		10月2日	70名
	小田小		10月2日	100名
	新作小		10月2日	86名
	下沼部小		10月2日	168名
	高津小		10月2日	183名
	南河原小		10月7日	60名
	今井小		10月7日	117名
	大谷戸小		10月7日	170名
	稗原小		10月7日	105名
	御幸小		10月9日	163名
	四谷小		10月9日	69名
	末長小		10月9日	205名
	住吉小		10月20日	83名
	西御幸小		10月20日	47名
	生田小		10月20日	81名
	宮前小		10月26日	137名
	菅小		10月26日	147名
	下作延小		10月28日	95名
	古川小		10月30日	186名
	虹ヶ丘小		10月30日	39名
	南野川小		10月30日	58名
	東小田小		10月30日	49名
	向丘小		10月30日	120名
	王禅寺中央小		10月30日	101名
	玉川小		11月3日	92名
	向小		11月5日	50名
	三田小		11月5日	98名
	下小田中小		11月10日	183名
	登戸小		11月12日	127名
	麻生小		11月12日	120名
	宿河原小		11月12日	160名
	旭町小		11月18日	94名
	下沼部小		11月20日	189名
	大島小		11月24日	52名
	東大島小		11月30日	40名
	東柿生小		12月2日	79名
	古市場小		12月13日	72名
	京町小		1月7日	67名
	夢見ヶ崎小		1月7日	85名
	藤崎小		1月7日	120名
	川中島小		1月7日	119名

事業名	講座名	回数	日程	参加人数
社会科教育推進事業 ワークブック配布	橘小		1月26日	135名
	荻宿小		2月3日	97名

(3) すべての人が参加しやすい事業

令和元年度に被災するまでは、すべての人が文化芸術を身近に感じ参加できるバリアフリープログラムを実施していたが、被災後は同プログラムのうちボランティア活動支援を「収藏品レスキュー作業への協力」に変更し実施している。

事業名	講座名	回数	日程	参加人数	
ボランティア活動支援	収藏品レスキュー作業への協力	古文書レスキュー（博物館）	34回	毎週土曜日 （ただし4月3日、10日、17日、 6月26日、8月7日、14日、 21日、28日、9月4日、11日、 18日、25日、10月23日、12月 18日、1月1日、8日、2月19日、 26日は除く）	61名

(4) 高等教育機関との連携

東海大学と川崎市市民ミュージアムとの協働による被災資料レスキュー事業。

事業名	講座名	回数	日程	参加人数
東海大学と川崎市市民ミュージアムとの協働による被災資料レスキュー事業	事前研修	1回	7月17日	20名
	ワークショップ	3回	8月27日、9月13日、 10月23日	30名
	フィードバック会	1回 ※リモート開催	1月25日	—



收集・貸出・特別利用



収集・貸出・特別利用

1. 収集

令和3年度は、博物館、美術館共に下記の資料または作品の収集を行った。

■ 寄贈 3件

木村伊兵衛写真賞1~21回受賞作品 北井一夫《村へ》等 199点
岡信孝《庭一橋》、《紅葉の庭》、《清水寺》 3点
高橋家資料 1件

■ 購入 2件

東京2020オリンピック 聖火リレートーチ、ユニフォーム 1件
東京2020パラリンピック 聖火リレートーチ、ユニフォーム 1件

■ 保管替 2件

東京2020オリンピック・パラリンピック 観戦チケット等 1件
結城天童《少女の森》 1点

2. 整理・保存

令和3年度は、博物館・美術館資料を中心に整理・保存作業を行い、収集資料の統合データベース化を進めた。

3. 収蔵品の貸出・他館への協力

令和3年度における他機関への資料貸出、特別利用の実績は以下の通りである。

■ 館外貸出 5件

	貸出先	貸出資料	点数
1	神戸ファッション美術館 特別展「アールヌーヴォーの華 アルフォンス・ミュシャ展」 2021年11月13日～2022年1月20日	アルフォンス・ミュシャ《サラ・ベルナル主演「サマリアの女」》 アルフォンス・ミュシャ《ムーズ・ビール》 アルフォンス・ミュシャ《モナコ・モンテカルロ/P.L.M 鉄道》 アルフォンス・ミュシャ《1900年パリ万国博覧会オーストリア部門》 アルフォンス・ミュシャ《ベネディクション酒》 アルフォンス・ミュシャ《煙草巻紙 ジョブ》 アルフォンス・ミュシャ《第20回サロン・デ・サン展》	7点
2	NHKグローバルメディアサービス 字幕制作センター 再放送中の連続テレビ小説「純ちゃんの応援歌」の 字幕制作資料 2021年10月6日～12月3日	「純ちゃんの応援歌」第1週～第16週 「純ちゃんの応援歌」第26週	16点
3	アーティゾン美術館 企画展「ジャム・セッション 石橋財団コレクション× 柴田敏雄×鈴木理策 写真と絵画—セザンヌより 柴田敏雄と鈴木理策」 2022年4月19日～7月19日	柴田敏雄《群馬県勢多郡東村郡東村》	1点
4	東海道かわさき宿交流館 2022年3月10日～2023年3月31日	東海道川崎宿模型	1点
5	鹿島田念仏講中 2022年4月1日～2023年3月31日	鹿島田念仏講道具一式	25点

■特別利用 97件（画像借用94件、複製3件）

No.	利用区分	利用先	申請資料・作品名（作家名）
1	画像借用	パナソニック汐留美術館	ジョルジュ・ムニエ『ノルマンディーとブルターニュへの小旅行』、プリヴァ・リヴモン『カプール』 各1点
2	画像借用	読売新聞東京本社文化部	『TOBAE』第二次 ①1887年01号表紙、②1887年05号画像、③1887年06号画像 各1点
3	画像借用	株式会社学研プラス	ジョルジュ・ピゴ―「魚釣り遊び」 1点
4	画像借用	和歌山大学教育学部	「おあひだが寄合て人となる」 1点
5	画像借用	株式会社近代映画協会	川崎市写真コンクール写真作品 鷺沼プール① 1点
6	画像借用	株式会社学研プラス	ジョルジュ・ピゴ―「魚釣り遊び」 1点
7	画像借用	株式会社学研プラス	ジョルジュ・ピゴ―「魚釣り遊び」 1点
8	画像借用	株式会社帝国書院広報室	加藤悦郎「巷説行革風景」（『東京パック』1937年新年号） 1点
9	画像借用	テレコムスタッフ株式会社	川崎市写真コンクール写真作品 工都川崎 1点
10	画像借用	（個人）	『トバエ』創刊号 1点/「さらば、わが友!」『トバエ 5号』掲載 1点/『北斎漫画 二編』2点/『クロッキ・ジャポネ』1点/「門の前に座る二人の男」『クロッキ・ジャポネ』掲載 1点/『ジャパン・パンチ 1886年10月号』1点
11	画像借用	株式会社アルバ	「寛永年中豊後肥田ニテ捕候水虎之図」 1点
12	画像借用	千葉市美術館	下川凹天写真資料 6点
13	画像借用	株式会社電通東日本	川崎市写真コンクール写真作品 溝ノ口駅（高津・昭和30年代）1点
14	複製	株式会社有隣堂	横浜村海辺新開場見立絵図 1点
15	複製	一般財団法人桂石文化振興財団	小桜威大鎧（模造） 1点
16	画像借用	株式会社小道舎	『絵本百物語』より「小豆洗い」、「二口女」、「お歯黒べったり」、「白蔵主」各1点
17	画像借用	川崎市立長尾小学校	下原遺跡4点、長尾村絵図 2点
18	画像借用	株式会社学研プラス	ジョルジュ・ピゴ―「魚釣り遊び」 1点
19	画像借用	川崎市宮前区役所まちづくり推進部地域振興課	川崎市写真コンクール写真作品 プールの夏 1点
20	画像借用	テレビ朝日「グッド!モーニング」	鳥山石燕「今昔物語拾遺 雲」 1点
21	画像借用	聖学院大学出版会	蒸気船之図 1点
22	画像借用	川崎市市民文化局市民文化振興室	川崎市制記念はがき「市街」 1点
23	画像借用	株式会社 Aikomi	川崎市写真コンクール写真作品 川崎駅前風景、読売ランドモノレール、市電川崎駅前風景、渡し、川崎球場ナイターゲーム、向丘遊園ケーブルカー、小田急線稲田登戸駅 各1点
24	画像借用	株式会社 NHK 出版	寛永年中豊後肥田ニテ捕候水虎之図 1点
25	画像借用	著作権利用等に係る教育 NPO 事務局	ジョルジュ・ピゴ―「メンザレ号の救助」 1点
26	画像借用	株式会社バンブー	ジョルジュ・ピゴ―「社交界に出入りする紳士淑女」 1点
27	画像借用	株式会社山川出版社	ジョルジュ・ピゴ―「魚釣り遊び」 1点
28	画像借用	埼玉新聞社ふるさと報道部	鳥山石燕『画図百鬼夜行 陽』『黒塚』 1点
29	画像借用	株式会社アーテファクトリー	加藤悦郎「巷説行革風景」（『東京パック』1937年新年号） 1点
30	画像借用	学習院大学	日本軍人ポンチ、ポンチ箱、ポンチ繪、親睦愉快ポンチ 各3点
31	画像借用	株式会社文生書院	アルフォンス・ミュシャ「煙草巻紙 ジョブ」(小) 1点
32	画像借用	株式会社祥伝社	ジョルジュ・ピゴ―「トバエ創刊号表紙」、「魚釣り遊び」、「社交界に出入りする紳士淑女」、「メンザレ号の救助」 各1点
33	画像借用	株式会社アーテファクトリー	「独逸の最後」（『東京パック』10巻24号）、「華盛頓料理」（『東京パック』14巻11号） 各1点
34	画像借用	株式会社増進堂・受験研究社	ジョルジュ・ピゴ―「魚釣り遊び」、「社交界に出入りする紳士淑女」、「メンザレ号の救助」 各1点
35	画像借用	株式会社 KADOKAWA	鳥山石燕『画図百鬼夜行 陰』『狸』『天狗』『画図百鬼夜行 陽』『飛頭蛮』『反枕』『姑獲鳥』『雪女』 各1点
36	画像借用	株式会社スタジオボルト	東京郊外電車回遊図会 1点
37	画像借用	株式会社ワード	小星（作）/東風人（画）『お伽正チャンの冒険』五の巻 1点
38	画像借用	学校法人高宮学園代々木ゼミナール	ジョルジュ・ピゴ―「社交界に出入りする紳士淑女」 1点
39	画像借用	株式会社 KADOKAWA	『画図百鬼夜行』雪女・河童・見越・窮奇、『今昔百鬼拾遺』天狗飛磔・蟹気楼・あやかし・藁火、『百器徒然草』天井簷 各1点
40	画像借用	株式会社増進堂・受験研究社	ジョルジュ・ピゴ―「魚釣り遊び」、「メンザレ号の救助」 各1点
41	画像借用	神戸ファッション美術館	アルフォンス・ミュシャ「モナコ・モンテカルロ/P.L.M 鉄道」 1点
42	画像借用	（個人）	「池上家文書」 5点
43	画像借用	株式会社増進堂・受験研究社	ジョルジュ・ピゴ―「魚釣り遊び」、「メンザレ号の救助」 各1点
44	画像借用	株式会社文生書院	フィルマン・ブイッセ「ムニエ・チョコレート」、アルフォンス・ミュシャ「第20回サロン・デ・サン展」 各1点
45	画像借用	合同会社ミカブックス	百器夜行 1点
46	画像借用	株式会社増進堂・受験研究社	ジョルジュ・ピゴ―「おれがついている……すぐ後ろにだ」 1点
47	画像借用	株式会社増進堂・受験研究社	ジョルジュ・ピゴ―「メンザレ号の救助」 1点
48	画像借用	ジャパニーズウイスキーディクショナリー	チャールズ・ワーグマン作品写真帖（フェリックス・ベアト撮影） 2点

No.	利用区分	利用先	申請資料・作品名（作家名）
49	画像借用	サイバー・ネット・コミュニケーションズ株式会社	加藤悦郎「巷説行革風景」（『東京パック』1937年新年号）1点
50	画像借用	国際日本文化研究センター	鳥山石燕『画図百鬼夜行陰』『網剪』1点
51	画像借用	（個人）	海苔養殖具、海苔刻み具、海苔付け用具、ペカ船で出漁、貝漁（オオマキ）、貝漁（コシボ漁）各1点
52	複製	（個人）	「川崎と養蚕の信仰」1点
53	画像借用	東芝未来科学館	川崎市写真コンクール写真作品 ポンネットバス、梨もぎに来た人たち、駅前風景、川崎駅側から見た京急の高架線 各1点
54	画像借用	株式会社ミネルヴァ書房東京	子母口貝塚貝層剥離 1点
55	画像借用	株式会社名古屋画廊	ロトチェンコ写真作品 14点
56	画像借用	パリ日本文化会館	小星（作）/ 東風人（画）『お伽正チャンの冒険』壺の巻 2点
57	画像借用	専修大学	「川崎市街全図」ほか 全9点
58	画像借用	多摩美術大学	黒塚直子『ひるねの間』1点
59	画像借用	株式会社ユニフォトプレスインターナショナル	加藤悦郎「巷説行革風景」（『東京パック』1937年新年号）1点
60	画像借用	川崎市川崎区役所まちづくり推進部企画課	川崎市写真コンクール写真作品 川崎駅前、貯木場と石油コンビナート 各1点
61	画像借用	川崎市宮前区役所まちづくり推進部地域振興課	川崎市写真コンクール写真作品 43点
62	画像借用	株式会社学研プラス	ジョルジュ・ピゴー「魚釣り遊び」1点
63	画像借用	高知大学	『ジャパン・パンチ 1862年5月号（創刊号）』、『画図百鬼夜行陰』『天狗』『幽谷響』、『團圓珍聞』第1号、『滑稽新聞』創刊号、『新体制漫画読本』創刊号 各1点
64	画像借用	公益財団法人川崎市老人クラブ連合会	川崎市制記念絵葉書「大師平間寺山門」1点
65	画像借用	日本文教出版株式会社	亀倉雄策「東京オリンピック」1点
66	画像借用	（個人）	『LA CARICATURE』No.01 1点
67	画像借用	駒澤大学	川崎宿森家文書「溝ノ口村水騒動明細帳」1点
68	画像借用	（個人）	川崎宿森家文書「（漬家数書上）」「上作恐以書付奉願上候（海岸夕除困堤大破修覆二付）」各1点
69	画像借用	慶應義塾大学出版会株式会社	『時事新報』明治28年3月26日付第4239号附録「十二月之内摘草」1点
70	画像借用	同志社大学	『ジャパン・パンチ 1862年5月号（創刊号）』1点
71	画像借用	合同会社カラボックス	「関東下知状」3点
72	画像借用	株式会社増進堂・受験研究社	ジョルジュ・ピゴー「魚釣り遊び」1点
73	画像借用	株式会社学研プラス	ジョルジュ・ピゴー「魚釣り遊び」1点
74	画像借用	株式会社オールアウト	佐藤惣之助の画像、昭和8年 1点
75	画像借用	川崎市立富士見台小学校	学校給食献立のレプリカ 1点
76	画像借用	東京大学大学院	小星（作）/ 東風人（画）『お伽正チャンの冒険』より3点、吉本三平「コグマノコロスケ」『幼年倶楽部』より3点
77	画像借用	川崎市総務企画局シティプロモーション推進室	川崎市制記念絵葉書「旧川崎町役場前」1点
78	画像借用	早稲田大学會津八一記念博物館	『暁斎鈍画』（初編）河鍋暁斎 1点
79	画像借用	【GOOD DESIGN Marunouchi】マンガとデザイン展 企画・運営チーム	中村惣次郎『アサヒマンガ 珍傑忍術漫遊記』、『チャンバラマンガ 忍術大阪城』各1点
80	画像借用	上田市立美術館	チャールズ・ワーグマン『THE JAPAN PUNCH』（1886年10月号表紙）1点
81	画像借用	株式会社アフロ	「華盛頓料理」（『東京パック』14巻11号）1点
82	画像借用	川崎市川崎区役所まちづくり推進部地域振興課	石井泰助肖像写真（60歳）1点
83	画像借用	川崎市総務企画局シティプロモーション推進室	市制記念はがき「市役所」1点
84	画像借用	水道産業新聞社	石井泰助肖像写真（60歳）、川崎町水道一覧図、川崎町水道通水記念絵葉書、横浜貿易新報（複製）、ニヶ領用水七堰絵図 各1点
85	画像借用	株式会社誠文堂新光社	『お伽正チャンの冒険』壺の巻 1点
86	画像借用	株式会社ベネッセコーポレーション	加藤悦郎「巷説行革風景」（『東京パック』1937年新年号）1点
87	画像借用	リックキッズ株式会社	「ムーラン・ルージュのラ・グーリュ」1点
88	画像借用	株式会社増進堂・受験研究社	ジョルジュ・ピゴー「メンザレ号の救助」1点 / 「魚釣り遊び」1点
89	画像借用	株式会社静岡新聞社	明和二乙酉年川崎宿船場町絵図 1点
90	画像借用	川崎市上下水道局サービス推進部サービス推進課	川崎市制記念絵葉書「旧川崎町役場前」1点
91	画像借用	株式会社学研プラス	ジョルジュ・ピゴー「魚釣り遊び」1点
92	画像借用	神奈川県教育委員会教育局指導部高校教育課	ジョルジュ・ピゴー「魚釣り遊び」1点
93	画像借用	YOU テレビ株式会社	石井泰助肖像写真（60歳）、横浜貿易新報（複製）、川崎町水道通水記念絵葉書、川崎町水道一覧図 各1点
94	画像借用	株式会社スティールストリート	富士瓦斯工場 写真 1点
95	画像借用	川崎市川崎区役所まちづくり推進部企画課	川崎市写真コンクール写真作品 12点
96	画像借用	実相寺昭雄研究会	実相寺昭雄関連資料 使用台本6点 / 写真4点
97	画像借用	那覇市市民文化財部文化財課（歴史博物館）	図録『二つの地をつなぐ人と文化 オキナワ／カワサキ』掲載資料 8点、図録『佐藤惣之助生誕百年記念 多彩な惣之助展』掲載資料 30点

■被災関係画像利用 4件（画像借用4件）

No.	利用区分	利用先	申請資料・作品名（作家名）
1	画像借用	独立行政法人国立文化財機構 文化財防災センター	被災画像 1点
2	画像借用	ヤマト運輸株式会社	被災画像 4点
3	画像借用	国際資料研究所	被災画像 1点
4	画像借用	文化庁企画調整課	被災画像 5点

調査・研究



調査・研究

1. 調査研究

<調査>

- ・企画展「鉄道操車場物語 一新鶴見から塩浜へ」に関する資料調査（神奈川県臨海鉄道株式会社、JR貨物新鶴見信号場、立教大学共生社会研究センター等）（鈴木）
- ・企画展「給水開始100年 近代川崎を切り拓いた水道」に関する資料調査（川崎市上下水道局第1配水工事事務所水道整備課、川崎市公文書館等）（谷）

2. 出版

『川崎市市民ミュージアム紀要第34集』

- ・研究ノート 1990年以前の漫画展「前史」（池川）
- ・技術報告 水損した映画フィルムの応急処置とデジタル化 ー川崎市市民ミュージアムの事例ー（鈴木）
- ・技術報告 川崎市市民ミュージアムにおける被災歴史資料のカビ量及び同定検査（谷、佐藤、高鳥浩介、高鳥美奈子、田中千陽）
- ・論文 明治初期における神奈川・品川県の水面上境界画定過程 ー漁場・漁業権との関連性からー（菊地）

<寄稿>

- ・「連載 フィルムアーカイブの諸問題 第110回 日本のフィルムアーカイブにおけるレスキュー体制と課題1」『NFAJ ニュースレター』2021年10月-12月号 国立映画アーカイブ（中西）
- ・「令和元年東日本台風による川崎市市民ミュージアム収蔵品被災 写真コレクションレスキュー活動報告」『日本写真芸術学会誌 令和3年度 第30巻・第1号・2号（合併号）』日本写真芸術学会、2021年12月20日（中野）
- ・「歩み続けるということ」『美連協ニュース152号』美術館連絡協議会、2022年3月（中野）
- ・「川崎市市民ミュージアムにおける被災収蔵品レスキュー活動についてー歴史資料を中心にー」『神奈川県博物館協会会報』第93号 神奈川県博物館協会 2022年3月（谷）
- ・「川崎市市民ミュージアムのレスキュー状況ー歴史資料を中心にー」『アーキビスト：全史料協関東部会会報』第97号 全史料協関東部会 2022年3月（谷）
- ・「松前記念館の博物館実習ー博物館との連携による博物館実習プログラムの構築ー」『東海大学資格教育研究』第1号 東海大学課程資格教育センター 2022年3月（佐藤、谷、菊地）

3. 職員の派遣

- 5月12日 「大山道と幻の武相中央鉄道」川崎市高津老人福祉・地域交流センター 令和3年度老人福祉センター事業 川崎の近代史（鈴木）
- 5月19日 「川崎の漁業と大師河原」川崎市高津老人福祉・地域交流センター 令和3年度老人福祉センター事業 川崎の近代史（林）
- 6月9日 「ニヶ領用水と川崎の水道」川崎市高津老人福祉・地域交流センター 令和3年度老人福祉センター事業 川崎の近代史（谷）
- 6月16日 「川崎市市民ミュージアムにおける被災収蔵品レスキュー活動について」川崎市高津老人福祉・地域交流センター 令和3年度老人福祉センター事業 川崎の近代史（谷）
- 7月10日 「行楽地としての多摩川ー玉電・花見・音頭ー」川崎市大山街道ふるさと館 令和3年度第2回企画展「絵図 絵葉書雑誌にみる高津」記念講演会（鈴木）
- 7月10日 「へびと水」川崎市有馬・野川 生涯学習支援施設アリーノ 地域図書室郷土民俗講座2021（林）
- 8月27日、9月13日、10月23日 「古文書洗浄ワークショップ」東海大学 松前記念館〈歴史と未来の博物館〉 東海大学と川崎市市民ミュージアムとの協働による被災資料レスキュー事業（谷）
- 9月25日 「パネルディスカッション1 災害が映画を変える時」シアター・イメージフォーラム イメージフォーラム・フィルムフェスティバル2021（中西）
- 11月21日 「『モニュメント』が語ること フランス『歴史的記念物委員会』プロジェクト×カワサキ・モニュメント」川崎市有馬・野川 生涯学習施設アリーノ 公開アート講座（中野）
- 12月9日 「川崎市市民ミュージアムにおけるレスキュー活動についてー歴史資料を中心にー」神奈川県立歴史博物館 令和3年度神奈川県博物館協会第3回研修会（東海地区博物館連絡協議会・（公財）日本博物館協会東海支部合同開催）（谷）

- 12月23日 「川崎市市民ミュージアムのレスキュー状況－歴史資料を中心に－」川崎市市民ミュージアム 全史料協関東部会第311回定例研究会 (谷)
- 1月22日 「水害伝承から見る多摩川－水害と治水のはなし－」川崎市大山街道ふるさと館 令和3年度第4回企画展「二子・溝口と多摩川－生活・産業・治水－」記念講演会 (林)
- 3月5日 「川崎市市民ミュージアムにおける古文書レスキューの概要」「開披・洗浄後の資料の扱い」※リモート開催 博物館と市民による持続可能なふるさと再生プロジェクト (霜村・谷)

4. 研修

- 6月4日 「令和3年度神奈川県博物館協会第1回研修会」 神奈川県博物館協会 (谷)
- 10月15日 「令和3年度神奈川県博物館協会第2回研修会」 神奈川県博物館協会 (谷)
- 12月9日 「令和3年度神奈川県博物館協会第3回研修会」 東海地区博物館連絡協議会・(公財)日本博物館協会 東海支部合同開催 (谷)

5. 被災収蔵品レスキュー報告プロジェクト

- ・連載企画「関係者コメントの記録」
- ・連載企画「被災収蔵品処置の記録 一収蔵品を追う」

広報



広報

1. 展覧会

展覧会名	No.	種別	媒体社名	媒体名	日付
救う過去、つなぐ未来 ー川崎市 市民ミュージアム 被災後活動 報告展ー	1	フリーペーパー	川崎市文化財団	かわさきアートニュース 9月号	2021/9/1
	2	その他	川崎市	かわさき市政だより 9月号	2021/9/1
	3	フリーペーパー	株式会社タウンニュース社	タウンニュース 中原区版	2021/9/3
	4	TV	YOU テレビ株式会社	地域情報番組「My You!」	2021/9/6 ~ 9/12
	5	フリーペーパー	株式会社タウンニュース社	タウンニュース 川崎区・幸区版	2021/9/10
	6	Web	神奈川県観光協会	観光かながわ NOW	2021/9/16
	7	Web	川崎市観光協会	川崎日和り	2021/9/16
	8	新聞	中日新聞東京本社	東京新聞	2021/9/21
	9	Web	ジャパントラベル株式会社	マグカル・ドット・ネット	2021/9/24
	10	TV	イツ・コミュニケーションズ 株式会社	「イツコム地モト NEWS」	2021/9/27
	11	Web	特定非営利活動法人 k-press	k-press	2021/9/28
	12	TV	イツ・コミュニケーションズ 株式会社	「イツコム地モト NEWS」	2021/10/9
	13	フリーペーパー	株式会社 Success Holders	ARIFT	2021/10/22
	14	フリーペーパー	川崎市文化財団	かわさきアートニュース 11月号	2021/11/1
給水開始 100 年 ー近代川崎を 切り拓いた水道ー	1	Web	川崎市生涯学習財団	川崎市生涯学習財団 HP	2021/8/2
	2	Web	有限会社デリオ	MIRAI ~ちょっと先のミライを探し に行こう	2021/8/9
	3	その他	川崎市上下水道局	かわさきの上下水道 第45号	2021/8/19
	4	Web	川崎市	かわさきイベントアプリ	2021/8/20
	5	ラジオ	かわさき FM	かわさき ホット☆スタジオ	2021/9/2
	6	Web	神奈川県観光協会	観光かながわ NOW	2021/9/16
	7	Web	川崎市観光協会	川崎日和り	2021/9/16
	8	フリーペーパー	川崎市文化財団	かわさきアートニュース 10月号	2021/9/17
	9	Web	ジャパントラベル株式会社	マグカル・ドット・ネット	2021/9/25
	10	Web	「映像のまち・かわさき」推進 フォーラム	映像のまち・かわさき	2021/9/30
	11	TV	イツ・コミュニケーションズ 株式会社	「イツコム地モト NEWS」	2021/10/1
	12	Web	株式会社 BTCompany	ウェブ版美術手帖	2021/10/1
	13	新聞	読売新聞東京本社	読売新聞	2021/10/7
	14	TV	イツ・コミュニケーションズ 株式会社	「イツコム地モト NEWS」	2021/10/11
	15	フリーペーパー	株式会社タウンニュース社	タウンニュース 高津区版	2021/10/15
	16	フリーペーパー	株式会社タウンニュース社	タウンニュース 宮前区版	2021/10/15
	17	フリーペーパー	株式会社タウンニュース社	タウンニュース 多摩区版	2021/10/22
	18	フリーペーパー	株式会社タウンニュース社	タウンニュース 川崎区・幸区版	2021/10/22
	19	Web	株式会社イメージング・ワーク ス	新小杉開発株式会社 HP	2021/10/28
	20	フリーペーパー	株式会社新聞編集センター	定年時代	2021/11/2
	21	フリーペーパー	株式会社タウンニュース社	タウンニュース 中原区版	2021/11/12
	22	Web	みんなの経済新聞ネットワーク	川崎経済新聞	2021/11/14
	23	フリーペーパー	株式会社タウンニュース社	タウンニュース 高津区版	2021/11/26
第 55 回 かわさき市 美術展	1	Web	川崎市	トヨタ・企業メセナ協議会	2021/6/14
	2	Web	川崎市生涯学習財団	川崎市生涯学習財団 HP	2021/6/15
	3	Web	株式会社公募ガイド社	公募ガイド ONLINE	2021/6/15
	4	Web	川崎市	かわさきイベントアプリ	2021/6/15

展覧会名	No.	種別	媒体社名	媒体名	日付
	5	Web	株式会社谷口松雄堂	ゆめ画材 公募展情報	2021/6/22
	6	Web	スターフィールド株式会社	コンペナビ	2021/6/15
	7	フリーペーパー	株式会社タウンニュース社	タウンニュース 中原区版、宮前区版、麻生区版	2021/6/25
	8	Web	株式会社タウンニュース社	タウンニュース 高津区版	2021/6/25
	9	フリーペーパー	株式会社タウンニュース社	タウンニュース 多摩区版	2021/7/9
	10	Web	株式会社インプレス	デジカメ WATCH	2021/7/30
	11	その他	川崎市	かわさき市政だより 8月号	2021/8/1
	12	Web	トヨタ・企業メセナ協議会	ネット TAM	2021/8/5
	13	Web	川崎市生涯学習財団	川崎市生涯学習財団 HP	2021/8/5
	14	Web	川崎市	かわさきイベントアプリ	2021/8/6
	15	Web	株式会社アートツリー出版社	アートツリー出版社 HP	2021/8/10
	16	Web	株式会社アートツリー出版社	アートツリー出版社 HP	2021/8/10
	17	新聞	神奈川新聞社	神奈川新聞	2021/8/15
	18	フリーペーパー	川崎市文化財団	かわさきアートニュース 9月号	2021/9/1
	19	雑誌	株式会社アートツリー出版社	PHOTOSAI Vol.34	2021/9/27
	20	Web	川崎市	かわさきイベントアプリ	2021/10/2
	21	その他	川崎市	かわさき市政だより 11月号	2021/11/1
	22	Web	神奈川県観光協会	観光かながわ NOW	2021/11/4
	23	Web	川崎市観光協会	川崎日和り	2021/11/4
	24	Web	トヨタ・企業メセナ協議会	ネット TAM	2021/11/8
	25	Web	川崎市	かわさきイベントアプリ	2021/11/8
	26	Web	キズナミライ運営事務局	MIRAI	2021/11/10
	27	Web	川崎市生涯学習財団	川崎市生涯学習財団 HP	2021/11/12
	28	Web	イツ・コミュニケーションズ株式会社	iTSCOM ch	2021/11/15
	29	Web	特定非営利活動法人 k-press	k-press	2021/11/22
	30	TV	イツ・コミュニケーションズ株式会社	「イツコム地モト NEWS」	2021/11/24
	31	新聞	神奈川新聞社	神奈川新聞	2021/11/25
	32	Web	ジャパントラベル株式会社	マグカル・ドット・ネット	2021/11/26
	33	TV	YOU テレビ株式会社	地域情報番組「My You!」	2021/11/29 ~ 12/5
	34	新聞	毎日新聞社	毎日新聞	2021/12/3
	35	フリーペーパー	株式会社タウンニュース社	タウンニュース 多摩区版	2021/12/3
	36	フリーペーパー	株式会社タウンニュース社	タウンニュース 中原区版	2021/12/10
	37	雑誌	株式会社アートツリー出版社	PHOTOSAI Vol.35	2021/12/27
オンライン展覧会 「the 3rd Area of “C” - 3つめの ミュージアム-」	1	新聞	読売新聞東京本社	読売新聞	2021/12/9
	2	Web	川崎市	かわさきイベントアプリ	2021/12/23
	3	Web	川崎市生涯学習財団	川崎市生涯学習財団 HP	2021/12/24
	4	Web	トヨタ・企業メセナ協議会	ネット TAM	2021/12/24
	5	Web	読売新聞社	美術展ナビ	2021/12/27
	6	新聞	神奈川新聞社	神奈川新聞	2021/12/29
	7	その他	川崎市	かわさき市政だより 1月号	2022/1/1
	8	フリーペーパー	川崎市文化財団	かわさきアートニュース 1月号	2022/1/1
	9	雑誌	株式会社ワン・パブリッシング	CAPA 2月号	2022/1/20
	10	新聞	朝日新聞社	朝日新聞 川崎版	2022/1/22
	11	Web	大日本印刷株式会社	artscape	2022/1/27
	12	ラジオ	FM サルース	LINK ~ Saturday ~	2022/1/29
	13	フリーペーパー	川崎市文化財団	かわさきアートニュース 2月号	2022/2/1
	14	フリーペーパー	川崎市文化財団	かわさきアートニュース 3月号	2022/3/1
	15	雑誌	株式会社ギャラリーステーション	GALLERY 2022 Vol.3	2022/3/1

展覧会名	No.	種別	媒体社名	媒体名	日付
鉄道操車場物語 -新鶴見から 塩浜へ- (川崎の鉄道操車 場-今昔めぐり- (オンライン)を 含む)	16	フリーペーパー	社会医療法人財団石心会	石心会グループ神奈川地区広報誌 「あおぞら」	2022/3/10
	17	フリーペーパー	株式会社タウンニュース社	タウンニュース 中原区版	2022/3/25
	1	Web	ネコ・パブリッシング (カルチュ ア・エンタテインメント株式会 社)	鉄道ホビダス	2021/11/16
	2	Web	トヨタ・企業メセナ協議会	ネット TAM	2021/11/19
	3	Web	トヨタ・企業メセナ協議会	ネット TAM	2021/11/19
	4	Web	川崎市	かわさきイベントアプリ	2021/11/22
	5	Web	川崎市	かわさきイベントアプリ	2021/11/22
	6	Web	川崎市生涯学習財団	川崎市生涯学習財団 HP	2021/11/22
	7	Web	川崎市生涯学習財団	川崎市生涯学習財団 HP	2021/11/22
	8	Web	キズナミライ運営事務局	MIRAI	2021/11/23
	9	Web	ジャパントラベル株式会社	マグカル・ドット・ネット	2021/11/30
	10	Web	ジャパントラベル株式会社	マグカル・ドット・ネット	2021/11/30
	11	フリーペーパー	川崎市文化財団	かわさきアートニュース 12月号	2021/12/1
	12	新聞	神奈川新聞社	神奈川新聞	2021/12/3
	13	雑誌	機芸出版社	鉄道模型趣味 No.960 2022年1月 号	2021/12/20
	14	新聞	神奈川新聞社	神奈川新聞	2021/12/24
	15	フリーペーパー	川崎市文化財団	かわさきアートニュース 1月号	2022/1/1
	16	フリーペーパー	株式会社新聞編集センター	定年時代 横浜・川崎版	2022/1/24
	17	TV	YOU テレビ株式会社	地域情報番組「My You!」	2022/1/24 ~ 30
	18	フリーペーパー	株式会社リクルート	ホットベッパ 2月号	2022/1/28
	19	Web	株式会社交友社	鉄道ファン railf.jp	2022/1/29
	20	フリーペーパー	川崎市文化財団	かわさきアートニュース 2月号	2022/2/1
	21	フリーペーパー	株式会社新聞編集センター	定年時代 横浜・川崎版	2022/2/7
	22	Web	ネコ・パブリッシング (カルチュ ア・エンタテインメント株式会 社)	鉄道ホビダス	2022/2/10
	23	フリーペーパー	株式会社タウンニュース社	タウンニュース 川崎市・幸区版	2022/2/11
	24	Web	中日新聞東京本社	東京新聞 TOKYO Web	2022/2/12
	25	新聞	読売新聞社	読売新聞	2022/2/12
	26	Web	読売新聞社	読売新聞オンライン	2022/2/12
27	Web	株式会社タウンニュース社	レアリア	2022/2/13	
28	TV	YOU テレビ株式会社	地域情報番組「My You!」	2022/2/14 ~ 2/20	

2. 上映

特集名	No.	種別	媒体社名	媒体名	日付
川崎市市民 ミュージアム 出張 夕やけ上映会	1	Web	川崎市生涯学習財団	川崎市生涯学習財団 HP	2021/10/7
	2	Web	「映像のまち・かわさき」推進 フォーラム	映像のまち・かわさき	2021/10/7
	3	Web	特定非営利活動法人 k-press	k-press	2021/10/9
	4	Web	武蔵小杉ライフ	武蔵小杉ライフ	2021/10/9
	5	Web	株式会社タウンニュース社	レアリア	2021/10/9
	6	新聞	神奈川新聞社	神奈川新聞	2021/10/12
	7	新聞	読売新聞東京本社	読売新聞	2021/10/15
	8	フリーペーパー	株式会社タウンニュース社	タウンニュース 中原区版、川崎市・ 幸区版	2021/10/15
	9	Web	株式会社タウンニュース社	タウンニュース 宮前区版、高津区 版、麻生区版	2021/10/15
	10	Web	川崎市	かわさきイベントアプリ	2021/10/15
	11	Web	株式会社イメージング・ワークス	新小杉開発株式会社 HP	2021/11/3

3. 普及

イベント名	No.	種別	媒体社名	媒体名	日付
ワークショップ 「さわれるシネマ ～フィルムで アニメーションを つくってみよう～」	1	Web	川崎市生涯学習財団	川崎市生涯学習財団 HP	2021/6/22
	2	Web	川崎市	かわさきイベントアプリ	2021/6/15
	3	Web	神奈川県観光協会	観光かながわ NOW	2021/7/2
	4	Web	川崎市観光協会	川崎日和り	2021/7/7
	5	新聞	神奈川新聞社	神奈川新聞	2021/7/9
	6	Web	株式会社タウンニュース社	レアリア	2021/7/9
ワークショップ 「見えてくる風景 写真をもとに絵を 描いてみよう」	1	Web	川崎市生涯学習財団	川崎市生涯学習財団 HP	2021/6/22
	2	Web	川崎市	かわさきイベントアプリ	2021/6/15
	3	Web	神奈川県観光協会	観光かながわ NOW	2021/7/2
	4	Web	川崎市観光協会	川崎日和り	2021/7/7
	5	Web	株式会社タウンニュース社	レアリア	2021/7/9
	6	TV	イツ・コミュニケーションズ 株式会社	「イツコム地モト NEWS」	2021/9/4
川崎市 市民ミュージアム 講座(オンライン)	1	Web	トヨタ・企業メセナ協議会	ネット TAM	2021/8/4
	2	Web	川崎市生涯学習財団	川崎市生涯学習財団 HP	2021/8/5
	3	Web	川崎市	かわさきイベントアプリ	2021/8/6
	4	新聞	神奈川新聞社	神奈川新聞	2021/8/27
	5	その他	川崎市	かわさき市政だより 10月号	2021/10/1
	6	フリーペーパー	川崎市健康福祉局	シニア世代の情報誌「楽笑」No.54	2021/10/11
	7	フリーペーパー	川崎市文化財団	かわさきアートニュース 11月号	2021/11/1
	8	フリーペーパー	川崎市文化財団	かわさきアートニュース 3月号	2022/3/1
史跡めぐり 「梅の香りとともに 歩く二ヶ領用水と 大山街道」	1	Web	川崎市生涯学習財団	川崎市生涯学習財団 HP	2022/1/20
	2	Web	川崎市	かわさきイベントアプリ	2022/1/20

4. 報告プロジェクト 「川崎市市民ミュージアム被災収蔵品レスキューの記録」

No.	種別	媒体社名	媒体名	日付
1	Web	全国美術館会議	全国美術館会議 HP	2021/4/3
2	新聞	産経新聞社	産経新聞	2021/4/10
3	新聞	朝日新聞社	朝日新聞	2021/4/15
4	雑誌	株式会社ワン・パブリッシング	CAPA 6月号	2021/5/20

5. その他

No.	内容	種別	媒体社名	媒体名	日付
1	市民ミュージアム オンラインショップ	その他	川崎市	かわさき市政だより 6月号	2021/6/1
2	市民ミュージアム オンラインショップ	フリーペーパー	川崎市文化財団	かわさきアートニュース 2月号	2022/2/1
3	市民ミュージアム オンラインショップ	フリーペーパー	川崎市文化財団	かわさきアートニュース 3月号	2022/3/1
1	施設関連	新聞	株式会社 日本経済新聞社	日本経済新聞	2021/9/8
2	施設関連	フリーペーパー	株式会社タウンニュース社	タウンニュース 中原区版・宮前区版	2021/9/10
3	施設関連	Web	株式会社 BTCompany	ウェブ版美術手帖	2021/9/14
4	施設関連	Web	オリジナル株式会社	タイムアウト東京	2021/9/15
5	施設関連	フリーペーパー	日本写真家協会	日本写真家協会会報 NO.176 (2021.Sep.)	2021/9/17
6	施設関連	フリーペーパー	株式会社タウンニュース社	タウンニュース 川崎区・幸区版	2021/9/17

資料



施設概要

敷地面積	25,358 m ²
建築面積	8,386 m ²
延床面積	19,542 m ²
常設展示室	2,551 m ²
博物館展示室	1,491 m ²
企画展示室	1,334 m ²
企画展示室 1	597 m ²
企画展示室 2	590 m ²
アートギャラリー	1,060 m ²
ミュージアムギャラリー 1・2	147 m ² (82 m ² + 65 m ²)
逍遙展示空間	747 m ²
映像ホール	342 m ² (266 席)
ミニホール (椅子席・ビデオのみ)	57 m ² (40 名)
研修室 1 (机・椅子固定)	70 m ² (24 名)
研修室 2	60 m ² (30 名)
研修室 3	56 m ² (36 名)
収蔵庫	2,433 m ² (9 室、前室を含む)
その他	12,083 m ²
ミュージアムショップ	40 m ²
ラウンジ	62 席
身障者設備	
トイレ	5 ヶ所
車いす	4 台
乳幼児設備	
ベビーベッド	2 台
授乳室	1 室
ベビーカー	3 台

指定文化財

神奈川県指定 1 件	
鰐口 1 口	
川崎市指定 23 件	
紙本墨画淡彩仙女図 2 幅	
青銅製鰐口 1 口	
古筆手鑑「披香殿」 1 帖	
後北条氏の虎の印判状 (永禄元年)	1 通
後北条氏の虎の印判状 (永禄 7 年)	1 通
後北条氏の虎の印判状 (天正 15 年)	1 通
関東下知状 附 極札 1 枚 1 通	
板碑 1 基	
有馬古墓群後谷戸グループ古墓出土火葬骨蔵器	
附 坏 19 箇 3 組 3 箇	
有馬古墓群台坂上グループ古墓出土火葬骨蔵器	
附 簪状骨製品 1 本 3 組 7 箇	
生田古墓群生田 8601 番地古墓出土火葬骨蔵器	
附 鹿角製刀子柄 1 本 2 組 4 箇	
生田古墓群鴛鴦沼古墓出土火葬骨蔵器	
附 鉄板状製品 1 枚 1 組 2 箇	
菅生古墓群長沢 1822 番地古墓出土火葬骨蔵器	2 組 4 箇
野川古墓群野川南耕地 A 地点古墓出土火葬骨蔵器	
附 鉄板状製品 1 枚 鉄釘 13 本 1 組 2 箇	
稗原古墓群 A 地点古墓出土火葬骨蔵器	
附 和銅開寶 1 枚 1 組 2 箇	
細山坂東谷古墳出土火葬骨蔵器	
附 鉄板状製品 1 枚	
状骨製品 2 本	
无射志国荏原評銘文字瓦 1 点	
万福寺遺跡群縄文時代草創期出土品 一括	
宿原縄文時代低地遺跡出土品 一括	
下原遺跡縄文時代後・晩期出土品 一括	
梶ヶ谷神明社上遺跡出土品 一括	
黒川の獅子頭 3 頭	
大師河原の漁撈具 一括	
鷺ヶ峰遺跡旧石器時代出土品 一括	

設計

建築設計者 (株)計画連合 (担当 菊竹清訓)
 展示設計者 (株)トータルメディア開発研究所

総工費 (当時)

建築工事費	88 億円
展示工事	23 億円
資料収集	21 億円
運営費	10 億円
合計	約 150 億円

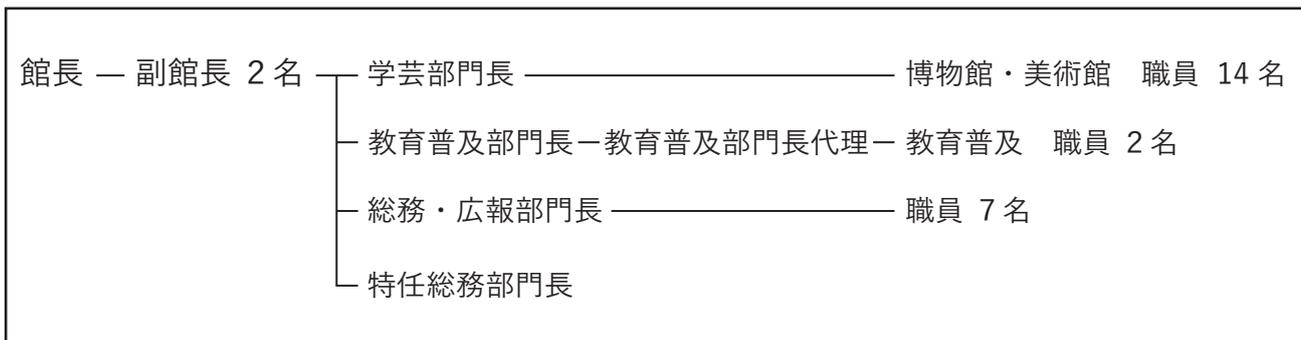
収蔵品

令和 3 年度分	
購入作品・資料	2 件
寄贈	3 件
寄託	0 件
保管替	2 件

分野	収蔵品総数	収蔵品内訳	
		作品・7-カブズ資料・図書	寄託品
歴史	42,377	39,696	2,681
民俗	13,981	13,951	30
考古	72,072	72,053	19
美術文芸	18,120	18,107	13
グラフィック	11,037	11,037	0
写真	33,113	32,774	339
漫画	74,503	74,503	0
映画	13,301	12,808	493
映像	28,131	27,238	893
合計	306,635	302,167	4,468

(令和4年3月31日)

運営管理：アクティオ・東急コミュニティー共同事業体



職員

(2021年4月から2022年3月まで)

館長	大野正勝
副館長	丸山 圭
副館長	佐藤美子 (学芸部門長兼務)

学芸部門

池川佳宏	
貝塚 健	
亀上妹以子	(10月～)
菊地悠介	(3月～)
定森裕太郎	
霜村光寿	
鈴木勇一郎	
谷 拓馬	
中西香南子	
中野可南子	
新美琢真	
羽生佳代	(5月～)
林 花音	
村岡由佳子	

教育普及部門

教育普及部門長	氏家みち江
教育普及部門長代理	奈良本真紀
	杉浦央子
	安尾祥子

総務・広報部門

総務・広報部門長	鋒山元茂
	石澤千夏
	大久保誠二
	澤口恭子
	武田智子
	竹本はるか
	飯塚美樹 非常勤
	丸山幸江 非常勤

特任総務部門長

西野サカミ

川崎市市民ミュージアム条例

昭和 62 年 12 月 22 日条例第 45 号

改正

平成 6 年 10 月 7 日条例第 30 号
平成 12 年 12 月 21 日条例第 78 号
平成 17 年 9 月 30 日条例第 87 号
平成 18 年 6 月 28 日条例第 53 号
平成 21 年 12 月 24 日条例第 47 号
平成 27 年 3 月 23 日条例第 2 号
平成 28 年 3 月 24 日条例第 18 号

(目的及び設置)

第 1 条 考古、歴史、民俗、美術、映像等に関する資料及び作品について収集、展示、調査研究等を行うこと等により、市民の観覧、学習、研究等に資するとともに市民相互の交流を推進し、もって市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、川崎市市民ミュージアム（以下「市民ミュージアム」という。）を設置する。

(位置)

第 2 条 市民ミュージアムの位置は、川崎市中原区等々力 1 番 2 号とする。

(事業)

第 3 条 市民ミュージアムは、おおむね次の事業を行う。

- (1) 考古、歴史、民俗、絵画、工芸、漫画、写真、ポスター、映像等に係る実物、複製、模型等の資料及び作品（以下「資料等」という。）の収集、保管、展示等を行うこと。
- (2) 資料等に関する講座、講演会、映画会、研究会等を開催すること。
- (3) 資料等に関する説明及び助言を行うこと。
- (4) 市民の文化活動の助長、奨励及び指導を行うこと。
- (5) 資料等に関する専門的及び技術的な調査研究並びに解説書、目録、年報、調査研究報告書等の作成及び頒布を行うこと。
- (6) 博物館、図書館、学校、研究所その他の関係機関と協力し、刊行物及び情報の交換、資料等の相互貸借等を行うこと。
- (7) 施設及び設備（以下「施設等」という。）を利用に供すること。

(指定管理者)

第 3 条の 2 市長は、法人その他の団体であって次の要件を満たすものとしてその指定するもの（以下「指定管理者」という。）に市民ミュージアムの管理を行わせる。

- (1) 市民ミュージアムの管理を行うに当たり、市民の平等な利用が確保できること。
 - (2) 事業計画書の内容が、市民ミュージアムの効用を最大限に発揮するとともに管理経費の縮減が図られるものであること。
 - (3) 事業計画書の内容に沿った市民ミュージアムの管理を安定して行う能力を有すること。
- 2 前項の指定を受けようとするものは、事業計画書その他市長が必要と認める書類を市長に提出しなければならない。
- 3 市長は、第 1 項の指定をしたときは、その旨を告示する。

(指定管理者が行う管理の基準)

第 3 条の 3 指定管理者は、この条例及びこれに基づく規則の規定に従い、市民ミュージアムの管理を行わなければならない。

(指定管理者が行う業務の範囲)

第 3 条の 4 指定管理者は、資料等の収集、保管、展示等を行う業務その他の市民ミュージアムの管理のために必要な業務を行わなければならない。

(利用時間及び休館日)

第 4 条 市民ミュージアムの利用時間及び休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、必要と認めるときは、あらかじめ市長の承認を得て、利用時間を変更し、又は臨時に開館し、若しくは休館することができる。

利用時間	午前 9 時 30 分から午後 5 時まで
休館日	(1) 月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日（以下「休日」という。）を除く。） (2) 休日の翌日（土曜日、日曜日及び休日を除く。） (3) 12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日までの日（前 2 号に掲げる日を除く。）

(観覧料)

第 5 条 市民ミュージアムが行う企画展の展示会場へ入場しようとする者は、指定管理者に観覧料を支払わなければならない。

- 2 観覧料の額は、別表第 1 に定める金額の範囲内において、あらかじめ市長の承認を得て、指定管理者が定めるものとする。
- 3 観覧料は、指定管理者の収入とする。

(特別利用)

第 6 条 資料等について熟覧、模写、模造、拓本、撮影及び原板使用（以下「特別利用」という。）をしようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。

- 2 前項の許可を受けた者は、指定管理者に特別利用料を支払わなければならない。
- 3 前項の特別利用料は、前払しなければならない。ただし、指定管理者が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。
- 4 指定管理者は、第 1 項の許可を受けた者がその条件に違反したとき、又は違反するおそれがあるとき、その他指定管理者が管理上支障があると認めるときは、当該許可を取り消し、又は特別利用を制限し、若しくは停止することができる。
- 5 特別利用料の額は、別表第 2 に定める金額の範囲内において、あらかじめ市長の承認を得て、指定管理者が定めるものとする。
- 6 特別利用料は、指定管理者の収入とする。

(施設等の利用許可)

第 7 条 別表第 3 に掲げる市民ミュージアムの施設等を利用しようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。

(施設等の利用料金)

第 8 条 前条の許可を受けた者（以下「施設等利用者」という。）は、指定管理者に利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を支払わなければならない。

- 2 利用料金は、前払しなければならない。ただし、指定管理者が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。
- 3 利用料金の額は、別表第 3 に定める金額の範囲内において、あらかじめ市長の承認を得て、指定管理者が定めるものとする。
- 4 利用料金は、指定管理者の収入とする。

(施設等の利用許可の制限)

第 9 条 指定管理者は、管理上支障があるとき、その他施設等の利用を不適当であると認めるときは、第 7 条の許可をしない。

(施設等の利用許可の取消し等)

第 10 条 指定管理者は、施設等利用者が次の各号のいずれかに該当すると認める場合は、第 7 条の許可を取り消し、又は施設等の利用を制限し、若しくは停止することができる。

- (1) 利用の目的に反したとき。
- (2) 秩序を乱し、他人の迷惑となる行為をしたとき。
- (3) 偽りその他不正な行為により第 7 条の許可を受けたとき。
- (4) 災害その他の事故により利用できなくなったとき。
- (5) 工事その他市の事業の執行上やむを得ない理由により利用できなくなったとき。
- (6) 前各号に定めるもののほか、この条例又はこれに基づく規則に違反したとき。

(施設等の変更禁止)

第 11 条 施設等利用者は、施設等を利用する場合において、これを模様替えし、又はこれに特別の設備を付設してはならない。ただし、指定管理者が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(施設等の利用権の譲渡等の禁止)

第 12 条 施設等利用者は、施設等を利用する権利を第三者に譲渡し、又は転貸してはならない。

(原状回復)

第 13 条 施設等利用者は、施設等の利用を終了し、又は第 7 条の許可を取り消され、若しくは施設等の利用を制限され、若しくは停止されたときは、直ちにその施設等を原状に回復し、又は返還しなければならない。

(取消し等による損害の責任)

第 14 条 市及び指定管理者は、第 10 条第 5 号に該当する場合を除き、第 7 条の許可の取消し又は施設等の利用の制限若しくは停止によって、施設等利用者が生じた損害については、その責めを負わない。

(観覧料等の減免)

第 15 条 指定管理者は、あらかじめ市長が定める基準に従い、第 5 条第 1 項に規定する観覧料、第 6 条第 2 項に規定する特別利用料及び利用料金（以下「観覧料等」という。）を減額し、又は免除することができる。

(観覧料等の返還)

第 16 条 既に支払われた観覧料等は、返還しない。ただし、指定管理者は、あらかじめ市長が定める基準に従い、その全部又は一部を返還することができる。

(入館等の制限)

第 17 条 指定管理者は、他人の迷惑となるおそれのある者その他管理上支障があると認められる者については、入館を断り、又は退館させることができる。

(損害の賠償)

第 18 条 資料等又は施設等を損傷し、又は滅失させた者は、市長の指示に従いこれらを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めるときは、賠償額を減額し、又は免除することができる。

(委任)

第 19 条 この条例の施行について必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例の施行期日は、市長が定める。(昭和 63 年 10 月 7 日規則第 85 号で昭和 63 年 11 月 1 日から施行)

附 則 (平成 6 年 10 月 7 日条例第 30 号)

この条例は、平成 6 年 10 月 17 日から施行する。

附 則 (平成 12 年 12 月 21 日条例第 78 号)

この条例は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 17 年 9 月 30 日条例第 87 号)

この条例は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 18 年 6 月 28 日条例第 53 号)

この条例は、平成 18 年 10 月 1 日から施行する。ただし、第 5 条及び別表第 1 の改正規定並びに別表第 2 の次に 1 表を加える改正規定（展示室及び道徳展示空間に係る部分に限る。）は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 21 年 12 月 24 日条例第 47 号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

(川崎市スポーツ振興審議会条例等の一部改正に伴う経過措置)

12 この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前に教育委員会が行った処分その他の行為で、施行日においてこの条例の附則の規定による改正後の次に掲げる条例の規定により当該行為を行うべきものが市長となるものは、施行日以後においては、市長が行った処分その他の行為とみなす。

(1) 川崎市スポーツ振興審議会条例

(2) 川崎市とどろきアリーナ条例

(3) 川崎市体育館条例

(4) 川崎市スポーツセンター条例

(5) 川崎市武道館条例

(6) 川崎市市民ミュージアム条例

(7) 川崎市岡本太郎美術館条例

(8) 川崎市大山街道ふるさと館条例

附 則 (平成 27 年 3 月 23 日条例第 2 号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。

(1) 第 16 条、第 17 条及び第 20 条の規定 平成 27 年 5 月 1 日

(2) 第 3 条の規定 平成 27 年 6 月 1 日

(3) 第 19 条の規定 平成 27 年 7 月 1 日

(4) 第 7 条の規定 平成 28 年 4 月 1 日

(5) 第 12 条、第 14 条及び第 15 条の規定 平成 28 年 5 月 1 日

(6) 第 2 条、第 4 条、第 11 条、第 13 条及び第 18 条の規定 平成 28 年 6 月 1 日

(7) 第 6 条の規定 平成 28 年 9 月 1 日

(8) 第 5 条の規定 平成 28 年 10 月 1 日

(9) 第 8 条の規定 平成 28 年 11 月 1 日

附 則 (平成 28 年 3 月 24 日条例第 18 号)

(施行期日)

1 この条例は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 3 条の次に 3 条を加える改正規定（第 3 条の 2（指定管理者に市民ミュージアムの管理を行わせることに係る部分を除く。）に係る部分に限る。）は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際現に効力を有する市長の行った利用許可その他の行為で、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）において改正後の条例（以下「新条例」という。）の規定により当該行為に相当する行為を行うべきものが新条例第 3 条の 2 第 1 項に規定する指定管理者（以下「指定管理者」という。）となるものは、施行日以後においては、指定管理者の行った利用許可その他の行為とみなす。

3 改正前の条例の規定により発行された共通利用券又は特別入場券については、新条例別表第 1 の規定にかかわらず、施行日以後引き続き使用することができる。

別表第 1（第 5 条関係）

1 普通観覧

単位	金額
1 人 1 回	2000 円

2 共通利用券

種別	金額
100円券 12枚つづり	1000円
100円券 25枚つづり	2000円

備考 共通利用券は、次に掲げる施設の入場等に利用することができる。ただし、当該各施設への団体（20人以上をいう。）の入場等については、この限りでない。

- (1) 市民ミュージアムにおいて市民ミュージアムが行う企画展の展示会場への入場
- (2) 川崎市岡本太郎美術館条例（平成11年川崎市条例第25号）に規定する川崎市岡本太郎美術館の常設展又は企画展の展示会場への入場
- (3) 川崎市青少年科学館条例（昭和46年川崎市条例第24号）に規定する川崎市青少年科学館のプラネタリウムの一般投影又は特別投影の観覧
- (4) 川崎市立日本民家園条例（昭和42年川崎市条例第19号）に規定する川崎市立日本民家園への入園

3 特別入場券

指定管理者は、7,000円の範囲内であらかじめ市長の承認を得て、定期券その他の特別入場券を発行することができる。

別表第2（第6条関係）

区分	単位	特別利用料
熟覧	1点 1日	200円
模写		1,000円
模造		1,000円
拓本		1,000円
撮影	1点	300円
原板使用	1枚	2,000円

別表第3（第7条、第8条関係）

1 施設利用料

		金額		
		午前9時30分から 午後0時30分まで	午後1時30分から 午後5時まで	午前9時30分から 午後5時まで
ホール	映像ホール	7,800円	9,100円	16,900円
	ミニホール	3,000円	3,500円	6,500円
研修室	研修室1	1,200円	1,400円	2,600円
	研修室2	1,200円	1,400円	2,600円
	研修室3	1,200円	1,400円	2,600円
研修室	企画展示室1			46,500円
	企画展示室2			45,000円
	アートギャラリー			75,000円
	多目的ギャラリー1			9,000円
	多目的ギャラリー2			7,500円
逍遥展示空間		30分につき 2,300円		

備考

- 1 土曜日、日曜日及び休日に利用する場合の施設利用料の額は、規定利用料の2割増相当額とする。
- 2 ホール、展示室又は逍遥展示空間の利用について入場料を徴収する場合の施設利用料の額は、次の表の入場料金の区分に従い、規定利用料（前項の規定を適用する場合は、同項の規定により算出して得た額）に増額の割合を乗じて得た額とする。

入場料金	増額の割合
1,000円未満	15割
1,000円以上 3,000円未満	20割
3,000円以上	30割

- 3 第4条ただし書の規定により同条の表に定める利用時間の変更がされた場合で当該変更に係る時間（午後5時から午前9時30分までの時間に限る。）に利用するときの施設利用料の額は、当該利用の許可に係る時間30分につき、ホール又は研修室を利用する場合にあっては利用日の午後1時30分から午後5時までの利用時間の区分（以下「午後の区分」という。）の規定利用料（前2項の規定を適用する場合は、これらの規定により算出して得た額。以下この項において同じ。）の30分当たりの額の2割増相当額（10円未満の端数は、切り捨てる。）、展示室を利用する場合にあっては利用日の午前9時30分から午後5時までの利用時間の区分の規定利用料の30分当たりの額の2割増相当額（10円未満の端数は、切り捨てる。）、逍遥展示空間を利用する場合にあっては規定利用料の2割増相当額（10円未満の端数は、切り捨てる。）とする。
- 4 午後0時30分から午後1時30分までの時間（以下「中間時間」という。）においてホール又は研修室を利用する場合（午前9時30分から午後0時30分までの利用時間の区分（以下「午前の区分」という。）又は午後の区分を利用する場合に限る。）の施設利用料の額は、当該利用の許可に係る時間30分につき、午前の区分の規定利用料（第1項又は第2項の規定を適用する場合は、これらの規定により算出して得た額）の30分当たりの額とする。ただし、午前の区分と午後の区分の当該2区分を引き続き利用する場合の中間時間の施設利用料は、無料とする。

2 設備利用料

単位	金額
1式、1本、1組、1台、1張、1双、1個、 1枚、1キロワットその他1単位 1回	10,000円

備考

- 1 本表においては、映像ホール、ミニホール又は研修室の利用にあっては午前の区分、午後の区分をそれぞれ1回として、企画展示室、アートギャラリー、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間の利用にあっては4時間までごとに1回として扱う。
- 2 映像ホール、ミニホール又は研修室を午後5時から午前9時30分までの時間に利用する場合の設備利用料の額は、4時間までごとに1回として扱う。
- 3 映像ホール、ミニホール又は研修室を中間時間において利用する場合の設備利用料の額は、30分につき、午前の区分を単位として利用した場合の規定利用料の30分当たりの額（10円未満の端数は、切り捨てる。）とする。ただし、午前の区分と午後の区分の当該2区分を引き続き利用する場合の中間時間の設備利用料は、無料とする。

川崎市市民ミュージアム条例施行規則

平成 22 年 3 月 31 日規則第 36 号

改正

平成 28 年 3 月 24 日規則第 8 号

平成 28 年 5 月 31 日規則第 55 号

平成 29 年 3 月 31 日規則第 16 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、川崎市市民ミュージアム条例(昭和 62 年川崎市条例第 45 号。以下「条例」という。)の施行について必要な事項を定めるものとする。

(公告)

第 2 条 市長は、条例第 3 条の 2 第 1 項の規定により川崎市市民ミュージアム(以下「市民ミュージアム」という。)の管理を行わせるため、法人その他の団体(以下「法人等」という。)を指定しようとするときは、あらかじめ次に掲げる事項を公告する。

- (1) 管理を行わせる施設の名称及び所在地
- (2) 条例第 3 条の 2 第 1 項に規定する指定管理者(以下「指定管理者」という。)が行う管理の基準及び業務の範囲
- (3) 指定管理者の指定の予定期間(以下「指定予定期間」という。)
- (4) 条例第 3 条の 2 第 2 項の規定による事業計画書その他市長が必要と認める書類の提出(以下「事業計画書等の提出」という。)の方法
- (5) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める事項(事業計画書等の提出)

第 3 条 事業計画書等の提出は、市長が定める期間内にしなければならない。

2 条例第 3 条の 2 第 2 項に規定する事業計画書その他市長が必要と認める書類は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 指定予定期間に属する各年度の市民ミュージアムの管理に係る事業計画書及び収支予算書
- (2) 定款又は寄附行為及び登記事項証明書(法人以外の団体にあつては、これらに相当する書類)
- (3) 事業計画書等の提出をする日(以下「提出日」という。)の属する事業年度の前事業年度における財産目録、貸借対照表及び損益計算書若しくは活動計算書又は収支計算書。ただし、提出日の属する事業年度に設立された法人等にあつては、その設立時における財産目録とする。
- (4) 提出日の属する事業年度及び翌事業年度における法人等の事業計画書及び活動予算書又は収支予算書
- (5) 役員の名簿及び履歴書
- (6) 組織及び運営に関する事項を記載した書類
- (7) 現に行っている業務の概要を記載した書類
- (8) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める書類(指定管理予定者)

第 4 条 市長は、事業計画書等の提出をした法人等が 2 以上あるときは、条例第 3 条の 2 第 1 項各号に掲げる要件(以下「指定要件」という。)を満たし、かつ、条例第 3 条各号に掲げる事業を行う上で最も適切と認める法人等を指定管理者の予定者(以下「指定管理予定者」という。)とする。

2 市長は、事業計画書等の提出をした法人等が 1 である場合において、指定要件を満たすときは、当該法人等を指定管理予定者とする。

3 市長は、前条第 1 項に規定する市長が定める期間内に事業計画書等の提出をした法人等がないとき、又は前 2 項の指定管理予定者がないときは、再度、第 1 条の 2 の規定による公告を行う。

(通知)

第 5 条 市長は、条例第 3 条の 2 第 1 項の指定をしたときは、指定された法人等に対し、指定管理者指定書(別記様式)により通知する。

(協定)

第 6 条 指定管理者は、市長と市民ミュージアムの管理に関する協定を締結するものとする。

2 前項の協定においては、次に掲げる事項を定めるものとする。

- (1) 事業計画に関する事項
- (2) 利用許可に関する事項
- (3) 観覧料に関する事項
- (4) 条例第 6 条に規定する特別利用(以下「特別利用」という。)に係る料金に関する事項
- (5) 利用に係る料金に関する事項
- (6) 管理に要する費用に関する事項
- (7) 管理を行うに当たって保有する個人情報の保護に関する事項
- (8) 管理の業務の報告に関する事項
- (9) 指定の取消し及び管理の業務の停止に関する事項
- (10) 川崎市契約条例(昭和 39 年川崎市条例第 14 号)に規定する作業報酬に関する事項
- (11) その他市長が必要と認める事項

(観覧券等の交付)

第 7 条 指定管理者は、条例第 5 条第 1 項の規定による観覧料の支払と引換えに観覧券、共通利用券又は特別入場券を交付するものとする。

(特別入場券)

第 8 条 指定管理者は、条例別表第 1 の 3 の規定により次の特別入場券を発行することができる。

- (1) 定期券
- (2) 共通入館券
- (3) 優待券
- (4) 前売券

(特別利用の申請等)

第 9 条 条例第 6 条第 1 項の規定により特別利用をしようとする者は、指定管理者に申請しなければならない。

2 指定管理者は、特別利用を許可したときは、当該特別利用に係る許可書を申請者に交付するものとする。

3 指定管理者は、特別利用を許可するときは、次に掲げる条件を付することができる。

- (1) 条例第 3 条第 1 号に規定する資料等(以下「資料等」という。)の模写、模造、拓本、撮影若しくは原板使用によって得たもの(以下「模写資料等」という。)を展示し、又は出版物等に掲載するときは、市民ミュージアムの所蔵に係るものであることを適切な方法で表示すること。
- (2) 無断で模写資料等の複製、出版物等への掲載、上映、放送又はこれらに類する行為をしないこと。
- (3) 資料等を撮影したときは当該撮影によって得たフィルム等を、模写資料等を出版物等へ掲載したときは当該出版物等を本市に提供すること。
- (4) その他指定管理者が必要と認める事項

(特別利用の不許可)

第10条 指定管理者は、次に掲げる資料等については、特別利用を許可しない。

- (1) 特別利用によって資料等の保存に影響を及ぼすおそれがあると認めるもの
- (2) 寄託された資料等で寄託者の同意を得ていないもの
- (3) 著作権が存する資料等で著作権者等の同意を得ていないもの
- (4) その他指定管理者が特別利用することを不適当と認めるもの

2 特別利用は、指定管理者の指示に従って行わなければならない。

(施設等の利用許可の申請)

第11条 条例第7条の規定により施設等(条例第3条第7号に規定する施設等をいう。以下同じ。)の利用の許可(以下「利用許可」という。)を受けようとする者は、指定管理者に申請しなければならない。

(施設等の利用許可の申請期間)

第12条 施設等の利用許可の申請期間は、次に定めるところによる。ただし、指定管理者が特に必要があると認めるときは、この限りでない。

- (1) 企画展示室又はアートギャラリーを利用する場合にあっては、利用日又は利用開始日(連続して利用しようとする場合の最初の日をいう。以下同じ。)の属する年度の前年度の4月1日から利用日の1月前まで申請することができる。
- (2) 映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間を利用する場合にあっては、利用日又は利用開始日の属する月の6月前の月の初日から利用日の14日前まで申請することができる。
- (3) 研修室を利用する場合にあっては、利用日の属する月の6月前の月の初日から利用日の3日前まで申請することができる。
- (4) 前2号の規定にかかわらず、企画展示室又はアートギャラリーの利用と併せて映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー、逍遥展示空間又は研修室を利用する場合にあっては、第1号の規定を準用する。
- (5) 第3号の規定にかかわらず、映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間の利用と併せて研修室を利用する場合にあっては、第2号の規定を準用する。

(施設等利用許可書の交付)

第13条 指定管理者は、施設等の利用許可をしたときは、当該利用に係る許可書を申請者に交付するものとする。

(特別の設備の付設等)

第14条 条例第11条ただし書の規定により施設等を模様替えし、又は特別の設備を付設しようとする者は、指定管理者に申請し、その承認を受けなければならない。

2 前項の規定による申請は、原則として第11条の規定による申請と同時に行わなければならない。

3 第1項の承認を受けた者が施設等を模様替えし、又は特別の設備を付設したときは、利用後直ちに自己の負担においてこれを原状に回復し、又は撤去しなければならない。

(施設等利用中止の届出)

第15条 施設等の利用許可を受けた者(以下「施設等利用者」という。)が、その利用を中止しようとするときは、指定管理者に届け出なければならない。

(利用期間等の制限)

第16条 指定管理者は、施設等の利用の公平を図るため必要があると認めるときは、同一利用者が1月以内に施設等を利用する期間又は回数を制限することができる。

(観覧料等の減免)

第17条 条例第15条の規定により指定管理者が同条に規定する観覧料等(以下「観覧料等」という。)を減額し、又は免除することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

(1) 観覧料

ア 学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校その他これらに準ずる教育施設が教育課程に基づく教育活動として観覧を行う場合 全額

イ 児童福祉法(昭和22年法律第164号)第7条第1項に規定する児童福祉施設が当該施設の活動として観覧を行う場合 全額

ウ 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条第4項の規定による身体障害者手帳、戦傷病者特別援護法(昭和38年法律第168号)第4条第1項又は第2項の規定による戦傷病者手帳、原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律(平成6年法律第117号)第2条第3項の規定による被爆者健康手帳、療育手帳(知的障害者の福祉の充実を図るため、児童相談所又は知的障害者更生相談所において知的障害と判定された者に対して支給される手帳で、その者の障害の程度その他の事項の記載があるものをいう。)、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)第45条第2項の規定による精神障害者保健福祉手帳等(以下「身体障害者手帳等」という。)の交付を受けている者(これらの者の介護者を含む。)が観覧を行う場合 全額

(2) 特別利用料

ア 市又は国若しくは他の地方公共団体がその事業の用途に供することを目的とする場合 全額

イ 私立の博物館、美術館、図書館、学校、研究所等がその事業の用途に供することを目的とする場合 全額

ウ 専ら学術研究の用途に供することを目的とする場合 全額

(3) 条例別表第3の1に規定する施設利用料及び同表の2に規定する設備利用料(以下「施設等利用料」という。)

ア 市又は国若しくは他の地方公共団体がその事業のために利用する場合 5割相当額

イ 市が構成員となっている協議会、研究会等が主催する行事等のために利用する場合 5割相当額

2 指定管理者は、前項の規定によるほか、市長が特別の理由があると認めるときは、観覧料等を減額し、又は免除することができる。

3 前2項の規定による観覧料等の減額又は免除を受けようとする場合は、あらかじめ指定管理者に申請しなければならない。ただし、第1項第1号ウの場合にあっては、身体障害者手帳等の提示をもって、当該申請に代えることができる。

(観覧料等の返還)

第18条 条例第16条ただし書の規定により観覧料等を返還することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

(1) 災害その他の事故により観覧又は特別利用ができない場合 観覧料又は特別利用料の全額

(2) 管理上の必要から入場を禁止し、若しくは制限し、又は特別利用の許可を取り消した場合 観覧料又は特別利用料の全額

(3) 条例第10条第4号又は第5号の規定により、指定管理者が利用許可を取り消した場合 施設等利用料の全額

(4) 企画展示室又はアートギャラリーの利用者が利用日の6月前までに利用中止を届け出た場合 施設等利用料の全額

(5) 企画展示室又はアートギャラリーの利用者が利用日の3月前までに利用中止を届け出た場合 施設等利用料の5割相当額

(6) 企画展示室又はアートギャラリーと併せて利用しない場合の映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間の利用者が利用日の1月前までに利用中止を届け出た場合 施設等利用料の全額

(7) 企画展示室又はアートギャラリーと併せて利用しない場合の映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間の利用者が利用日の14日前までに利用中止を届け出た場合 施設等利用料の5割相当額

(8) 企画展示室、アートギャラリー、映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間と併せて利用しない場合の研修室の利用者が利用日の3日前までに利用中止を届け出た場合 施設等利用料の全額

(9) 企画展示室又はアートギャラリーと併せて利用する場合の映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー、逍遥展示空間又は研修室の利用者が利用日の6月前までに利用中止を届け出た場合 施設等利用料の全額

(10) 企画展示室又はアートギャラリーと併せて利用する場合の映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー、逍遥展示空間又は研修室の利用者が利用日の3月前までに利用中止を届け出た場合 施設等利用料の5割相当額

(11) 映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間と併せて利用する場合の研修室の利用者が利用日の1月前までに利用中止を届け出た場合 施設等利用料の全額

(12) 映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間と併せて利用する場合の研修室の利用者が利用日の14日前までに利用中止を届け出た場合 施設等利用料の5割相当額

(13) 前各号に定めるもののほか、市長が正当な理由があると認める場合 市長が認める額
(遵守事項)

第19条 市民ミュージアムを利用する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 建物、附属設備又は資料等を汚損若しくは損傷し、又はそれらのおそれのある行為をしないこと。

(2) 他人に迷惑をかけ、又はそのおそれのある行為をしないこと。

(3) 展示会場において許可を受けずに、撮影、模写等を行わないこと。

(4) 所定の場所以外で飲食又は喫煙をしないこと。

(5) 施設等利用者は、定員を超えて入場させないこと。

(6) 利用許可された以外の施設等を利用しないこと。

(7) 所定の場所以外で火気を使用しないこと。

(8) 危険物又は不潔物を持ち込まないこと。

(9) 許可を受けずに物品の販売又は飲食の提供をしないこと。

(10) 前各号に定めるもののほか、指定管理者の指示する事項

(整理員の配置)

第20条 施設等利用者は、市民ミュージアムの利用に際し、市民ミュージアム内外の秩序維持のために必要な整理員を置かなければならない。ただし、指定管理者が必要がないと認める場合は、この限りでない。

(管理上の入室)

第21条 施設等利用者は、管理のために立ち入る係員の入室を拒むことができない。

(損傷等の届出)

第22条 施設等利用者は、施設等を損傷し、又は滅失したときは、文書により速やかに指定管理者に届け出なければならない。

(利用後の点検)

第23条 施設等利用者は、施設等の利用を終了したときは、係員に報告し、その点検を受けなければならない。

(委任)

第24条 この規則の施行について必要な事項は、市民文化局長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 川崎市市民ミュージアム協議会規則(平成18年川崎市教育委員会規則第9号)の規定により委嘱され、又は任命された委員で、この規則の施行の際現在に在任する委員は、その任期が終了するまでの間、この規則の規定に基づき委嘱され、又は任命されたものとみなす。

附 則(平成28年3月24日規則第8号)

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。ただし、第15条第1項第1号ア及び第26条の改正規定は、平成28年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 改正前の規則の規定により調製した帳票で現に残存するものについては、当分の間、必要な箇所を訂正した上、引き続きこれを使用することができる。

附 則(平成28年5月31日規則第55号)

この規則は、平成28年6月1日から施行する。

附 則(平成29年3月31日規則第16号)

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

表紙写真
川崎市市民ミュージアム出張 夕やけ上映会 2021年10月30日 写真：原 美樹子

令和3年度
川崎市市民ミュージアム年報

令和4年3月31日発行
編集・発行／川崎市市民ミュージアム
川崎市中原区等々力1-2
電話 044-754-4500

